

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記原理
実務家教員	—
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	1 学期
科目区分	必須
授業方法	講義
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の目的 2 簿記一巡 3 株式会社の資本①（意義、資本、発行） 4 株式会社の資本②（剰余金の配当） 5 商品売買①（商品売買、3分法、売掛金・買掛金） 6 商品売買②（返品、分記法） 7 商品売買③（仕入諸掛・販売諸掛、前受金・前払金、受取商品券） 8 決算①（決算） 9 決算②（決算整理） 10 決算③（繰越商品および仕入の決算整理） 11 決算④（決算整理後残高試算表） 12 決算⑤（精算表） 13 現金および預金①（現金、普通預金、当座預金） 14 現金および預金②（複数口座の管理、当座借越） 15 受取手形および売掛金の決算整理 16 有形固定資産 17 現金過不足および現金、貯蔵品の決算整理 18 その他の債権および債務①（債権・債務、未収入金・未払金） 19 その他の債権および債務②（クレジット売掛金、手形貸付金・借入金） 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記通論
実務家教員	—
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	1 学期
科目区分	必須
授業方法	講義
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	株式会社における複式簿記の財務諸表作成までの流れを学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	株式会社を前提とした企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 その他の債権および債務③（仮払金・仮受金、差入保証金） 2 その他の勘定および訂正仕訳 3 その他の収益および費用 4 費用および収益の決算整理 5 消費税および法人税等の決算整理 6 訂正仕訳 7 財務諸表の作成①（損益計算書） 8 財務諸表の作成②（貸借対照表） 9 手形および電子記録債権・債務 10 主要簿と補助簿 11 現金出納帳および当座預金出納帳 12 小口現金出納帳 13 仕入帳と売上帳 14 売掛金元帳と買掛金元帳 15 商品有高帳 16 手形記入帳 17 固定資産台帳 18 試算表の作成 19 伝票会計 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	商業簿記論
実務家教員	—
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	1 学期
科目区分	必須
授業方法	演習
授業時間	8 0 時間
授業コマ数	4 0 コマ
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 項目別演習① 2 項目別演習② 3 項目別演習③ 4 項目別演習④ 5 項目別演習⑤ 6 項目別演習⑥ 7 項目別演習⑦ 8 項目別演習⑧ 9 項目別演習⑨ 10 項目別演習⑩ 11 項目別演習⑪ 12 項目別演習⑫ 13 項目別演習⑬ 14 項目別演習⑭ 15 項目別演習⑮ 16 項目別演習⑯ 17 項目別演習⑰ 18 項目別演習⑱ 19 項目別演習⑲ 20 項目別演習⑳ 21 商業簿記総まとめ① 22 商業簿記総まとめ② 23 商業簿記総まとめ③ 24 商業簿記総まとめ④ 25 商業簿記総まとめ⑤ 26 商業簿記総まとめ⑥ 27 商業簿記総まとめ⑦ 28 商業簿記総まとめ⑧ 29 商業簿記総まとめ⑨ 30 商業簿記総まとめ⑩ 31 商業簿記総まとめ⑪ 32 商業簿記総まとめ⑫ 33 商業簿記総まとめ⑬ 34 商業簿記総まとめ⑭ 35 商業簿記総まとめ⑮ 36 商業簿記総まとめ⑯ 37 総合演習① 38 総合演習② 39 総合演習③ 40 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	会社会計論
実務家教員	—
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	1 学期
科目区分	必須
授業方法	講義
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	基本的な取引を基に、仕訳や帳簿への記入方法から基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解、決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記一巡の手続きと財務諸表 2 現金預金 3 債権・債務 4 棚卸資産 5 有価証券① 6 有価証券② 7 固定資産① 8 固定資産② 9 債務保証 10 引当金 11 収益と費用 12 為替換算会計 13 株式会社の純資産 14 企業結合 15 税金 16 伝票と帳簿 17 決算 18 本支店会計 19 連結会計 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	電卓技能	
実務家教員	—	
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	電卓の使い方、端数の取り扱い
	2	電卓演習 1
	3	電卓演習 2
	4	電卓演習 3
	5	電卓演習 4
	6	電卓演習 5
	7	電卓演習 6
	8	電卓演習 7
	9	電卓演習 8
	10	電卓演習 9
	11	電卓演習 1 0
	12	電卓演習 1 1
	13	電卓演習 1 2
	14	電卓演習 1 3
	15	電卓演習 1 4
	16	電卓演習 1 5
	17	電卓演習 1 6
	18	電卓演習 1 7
	19	電卓演習 1 8
	20	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養
実務家教員	—
学部・学科	情報処理工学科2年制 情報経理科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名① 2 訓読み・送り仮名② 3 熟語① 4 熟語② 5 熟語③ 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正① 8 誤字訂正② 9 類義語 10 反対語① 11 反対語② 12 漢字の意味・使い方① 13 漢字の意味・使い方② 14 漢字の意味・使い方③ 15 項目別模擬試験① 16 項目別模擬試験② 17 項目別模擬試験③ 18 直前模擬試験① 19 直前模擬試験② 20 直前模擬試験③
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	3級総合			
実務家教員	—			
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科			
履修年次	1年次			
開講学期	1学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	80時間			
授業コマ数	40コマ			
授業概要	やや難しい会計処理を問題演習を通じて3級の範囲をマスターする			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（応用編）	21	総合問題対策⑥
	2	商業簿記総まとめ②（応用編）	22	総合問題対策⑦
	3	商業簿記総まとめ③（応用編）	23	総合問題対策⑧
	4	商業簿記総まとめ④（応用編）	24	総合問題対策⑨
	5	商業簿記総まとめ⑤（応用編）	25	総合問題対策⑩
	6	商業簿記総まとめ⑥（応用編）	26	総合問題演習①
	7	商業簿記総まとめ⑦（応用編）	27	総合問題演習②
	8	商業簿記総まとめ⑧（応用編）	28	総合問題演習③
	9	商業簿記総まとめ⑨（応用編）	29	総合問題演習④
	10	商業簿記総まとめ⑩（応用編）	30	総合問題演習⑤
	11	商業簿記総まとめ⑪（応用編）	31	総合問題演習⑥
	12	商業簿記総まとめ⑫（応用編）	32	総合問題演習⑦
	13	商業簿記総まとめ⑬（応用編）	33	総合問題演習⑧
	14	商業簿記総まとめ⑭（応用編）	34	総合問題演習⑨
	15	商業簿記総まとめ⑮（応用編）	35	総合問題演習⑩
	16	総合問題対策①	36	総合問題演習⑪
	17	総合問題対策②	37	総合問題演習⑫
	18	総合問題対策③	38	総合問題演習⑬
	19	総合問題対策④	39	総合問題演習⑭
	20	総合問題対策⑤	40	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合原価計算論
実務家教員	—
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	1 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記の基礎 2 個別原価計算における工業簿記の記帳体系 3 材料費会計 4 労務費会計 5 経費会計 6 製造間接費会計 7 製造間接費差異の原因別分析 8 単純個別原価計算 9 工企業の財務諸表 10 部門別計算 11 総合原価計算における工業簿記の記帳体系 12 単純総合原価計算 13 工程別総合原価計算 14 組別総合原価計算 15 等級別総合原価計算 16 減損および仕損 17 標準原価計算 18 CVP分析 19 直接原価計算 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	2 級総合																																								
実務家教員	—																																								
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科																																								
履修年次	1 年次																																								
開講学期	1 学期																																								
科目区分	選択																																								
授業方法	演習																																								
授業時間	4 0 時間																																								
授業コマ数	2 0 コマ																																								
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ																																								
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																																								
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする																																								
教科書	オリジナルテキスト																																								
特記																																									
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>商業簿記総まとめ①</td></tr> <tr><td>2</td><td>商業簿記総まとめ②</td></tr> <tr><td>3</td><td>商業簿記総まとめ③</td></tr> <tr><td>4</td><td>商業簿記総まとめ④</td></tr> <tr><td>5</td><td>商業簿記総まとめ⑤</td></tr> <tr><td>6</td><td>工業簿記・原価計算総まとめ①</td></tr> <tr><td>7</td><td>工業簿記・原価計算総まとめ②</td></tr> <tr><td>8</td><td>工業簿記・原価計算総まとめ③</td></tr> <tr><td>9</td><td>総合問題対策①（商業簿記と工業簿記）</td></tr> <tr><td>10</td><td>総合問題対策②（商業簿記と工業簿記）</td></tr> <tr><td>11</td><td>総合問題対策③（商業簿記と工業簿記）</td></tr> <tr><td>12</td><td>総合問題対策④（商業簿記と工業簿記）</td></tr> <tr><td>13</td><td>総合問題対策⑤（商業簿記と工業簿記）</td></tr> <tr><td>14</td><td>工業簿記総合問題演習①（テスト形式）</td></tr> <tr><td>15</td><td>商業簿記総合問題演習②（テスト形式）</td></tr> <tr><td>16</td><td>工業簿記総合問題演習②（テスト形式）</td></tr> <tr><td>17</td><td>直前模試①</td></tr> <tr><td>18</td><td>直前模試②</td></tr> <tr><td>19</td><td>直前模試③</td></tr> <tr><td>20</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	1	商業簿記総まとめ①	2	商業簿記総まとめ②	3	商業簿記総まとめ③	4	商業簿記総まとめ④	5	商業簿記総まとめ⑤	6	工業簿記・原価計算総まとめ①	7	工業簿記・原価計算総まとめ②	8	工業簿記・原価計算総まとめ③	9	総合問題対策①（商業簿記と工業簿記）	10	総合問題対策②（商業簿記と工業簿記）	11	総合問題対策③（商業簿記と工業簿記）	12	総合問題対策④（商業簿記と工業簿記）	13	総合問題対策⑤（商業簿記と工業簿記）	14	工業簿記総合問題演習①（テスト形式）	15	商業簿記総合問題演習②（テスト形式）	16	工業簿記総合問題演習②（テスト形式）	17	直前模試①	18	直前模試②	19	直前模試③	20	確認テスト
1	商業簿記総まとめ①																																								
2	商業簿記総まとめ②																																								
3	商業簿記総まとめ③																																								
4	商業簿記総まとめ④																																								
5	商業簿記総まとめ⑤																																								
6	工業簿記・原価計算総まとめ①																																								
7	工業簿記・原価計算総まとめ②																																								
8	工業簿記・原価計算総まとめ③																																								
9	総合問題対策①（商業簿記と工業簿記）																																								
10	総合問題対策②（商業簿記と工業簿記）																																								
11	総合問題対策③（商業簿記と工業簿記）																																								
12	総合問題対策④（商業簿記と工業簿記）																																								
13	総合問題対策⑤（商業簿記と工業簿記）																																								
14	工業簿記総合問題演習①（テスト形式）																																								
15	商業簿記総合問題演習②（テスト形式）																																								
16	工業簿記総合問題演習②（テスト形式）																																								
17	直前模試①																																								
18	直前模試②																																								
19	直前模試③																																								
20	確認テスト																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																																								
備考																																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コンピュータの基礎知識	
実務家教員授業	—	
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	コンピュータの構成、ネットワーク、データベース、セキュリティ等の技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	職業人が備えておくべき情報技術に関する知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	基礎理論
	2	アルゴリズムとプログラミング
	3	コンピュータ構成要素
	4	システム構成要素
	5	ソフトウェア①
	6	ソフトウェア②
	7	ソフトウェア③
	8	ハードウェア・ヒューマンインタフェース
	9	マルチメディア①
	10	マルチメディア②
	11	マルチメディア③
	12	データベース①
	13	データベース②
	14	データベース③
	15	ネットワーク①
	16	ネットワーク②
	17	ネットワーク③
	18	セキュリティ①
	19	セキュリティ②
	20	セキュリティ③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	情報処理概論	
実務家教員授業	－	
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	初学者を対象にコンピュータに関する知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	コンピュータに関する知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	基礎理論
	2	アルゴリズムとプログラミング
	3	コンピュータ構成要素・システム構成要素
	4	ソフトウェア
	5	ハードウェア
	6	ヒューマンインタフェース
	7	マルチメディア
	8	データベース
	9	ネットワーク
	10	セキュリティ
	11	システム開発技術
	12	ソフトウェア開発管理技術
	13	プロジェクトマネジメント
	14	サービスマネジメント
	15	システム監査
	16	システム戦略
	17	経営戦略
	18	企業活動
	19	法務
	20	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ハードウェア
実務家教員授業	－
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのハードウェアの基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのハードウェアの基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 離散数学（基数・数値の表現） 2 離散数学（シフト演算・論理演算） 3 応用数学 4 情報に関する理論 5 データ構造（配列・リスト） 6 データ構造（スタック・キュー・木構造） 7 アルゴリズム（流れ図・ソート） 8 アルゴリズム（探索・文字列） 9 プログラミング 10 プログラム言語 11 プロセッサ（コンピュータの構成） 12 プロセッサ（レジスタ） 13 プロセッサの性能 14 メモリ・バス 15 入出力インタフェース・入出力装置 16 補助記憶装置 17 システムの構成 18 信頼性設計 19 信頼性指標と信頼性計算 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ソフトウェア
実務家教員授業	－
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのソフトウェアの基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのソフトウェアの基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	- オペレーティングシステム（OSの種類と特徴） - オペレーティングシステム（タスク管理） - オペレーティングシステム（入出力管理・記憶管理） - オペレーティングシステム（仮想記憶方式） - 問題演習 - ミドルウェア - ファイルシステム - 開発ツール - オープンソースソフトウェア - 問題演習 - 電気・電子回路 - 構成部品及び要素と実装 - 問題演習 - ヒューマンインタフェース技術 - インタフェース設計 - マルチメディア技術（音声処理） - マルチメディア技術（静止画処理） - マルチメディア応用 - 問題演習 - 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	アルゴリズム																																								
実務家教員授業	－																																								
学部・学科	情報処理工学2年制 情報経理科																																								
履修年次	1 年次																																								
開講学期	2 学期																																								
科目区分	選択																																								
授業方法	講義および演習																																								
授業時間	4 0 時間																																								
授業コマ数	2 0 コマ																																								
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのアルゴリズムの基礎知識を学ぶ																																								
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																																								
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのアルゴリズムの基礎知識を習得する																																								
教科書	オリジナルテキスト																																								
特記																																									
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>データ構造（配列・リスト）</td></tr> <tr><td>2</td><td>データ構造（スタック・キュー）</td></tr> <tr><td>3</td><td>データ構造（2分探索木）</td></tr> <tr><td>4</td><td>データ構造（ヒープ）</td></tr> <tr><td>5</td><td>問題演習</td></tr> <tr><td>6</td><td>アルゴリズム（ソート1）</td></tr> <tr><td>7</td><td>アルゴリズム（ソート2）</td></tr> <tr><td>8</td><td>アルゴリズム（ソート3）</td></tr> <tr><td>9</td><td>問題演習</td></tr> <tr><td>10</td><td>アルゴリズム（線形探索法・2分探索法）</td></tr> <tr><td>11</td><td>アルゴリズム（ハッシュ法）</td></tr> <tr><td>12</td><td>問題演習</td></tr> <tr><td>13</td><td>アルゴリズム（文字列操作1）</td></tr> <tr><td>14</td><td>アルゴリズム（文字列操作2）</td></tr> <tr><td>15</td><td>アルゴリズム（文字列操作3）</td></tr> <tr><td>16</td><td>問題演習</td></tr> <tr><td>17</td><td>構文解析技法（BNF）</td></tr> <tr><td>18</td><td>マークアップ言語（HTML・XML）</td></tr> <tr><td>19</td><td>問題演習</td></tr> <tr><td>20</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	1	データ構造（配列・リスト）	2	データ構造（スタック・キュー）	3	データ構造（2分探索木）	4	データ構造（ヒープ）	5	問題演習	6	アルゴリズム（ソート1）	7	アルゴリズム（ソート2）	8	アルゴリズム（ソート3）	9	問題演習	10	アルゴリズム（線形探索法・2分探索法）	11	アルゴリズム（ハッシュ法）	12	問題演習	13	アルゴリズム（文字列操作1）	14	アルゴリズム（文字列操作2）	15	アルゴリズム（文字列操作3）	16	問題演習	17	構文解析技法（BNF）	18	マークアップ言語（HTML・XML）	19	問題演習	20	確認テスト
1	データ構造（配列・リスト）																																								
2	データ構造（スタック・キュー）																																								
3	データ構造（2分探索木）																																								
4	データ構造（ヒープ）																																								
5	問題演習																																								
6	アルゴリズム（ソート1）																																								
7	アルゴリズム（ソート2）																																								
8	アルゴリズム（ソート3）																																								
9	問題演習																																								
10	アルゴリズム（線形探索法・2分探索法）																																								
11	アルゴリズム（ハッシュ法）																																								
12	問題演習																																								
13	アルゴリズム（文字列操作1）																																								
14	アルゴリズム（文字列操作2）																																								
15	アルゴリズム（文字列操作3）																																								
16	問題演習																																								
17	構文解析技法（BNF）																																								
18	マークアップ言語（HTML・XML）																																								
19	問題演習																																								
20	確認テスト																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																																								
備考																																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	通信ネットワーク
実務家教員授業	－
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのネットワークの基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのネットワークの基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 通信回線 2 ルータ 3 IPアドレス 4 IPアドレスの有効利用 5 IPアドレスの設定 6 ファイアウォールとDMZ 7 プロキシサーバ 8 ルーティング制御 9 伝送制御プロトコル 10 TCP/IP 11 データリンク層のプロトコル 12 ネットワーク層のプロトコル 13 トランスポート層のプロトコル 14 アプリケーション層のプロトコル 15 通信回線の能力を表す指標 16 待ち行列モデル 17 トラフィック量の計算 18 誤り制御 19 総合演習 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	データベース概論
実務家教員授業	－
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのデータベースの基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのデータベースの基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 データベース言語（SQL） 2 単純な抽出、抽出条件の指定 3 複数条件の指定、抽出条件の値の範囲指定 4 抽出条件の値の指定 5 表の結合① 6 表の結合② 7 集約関数の利用 8 パターン文字の利用 9 グループごとの抽出 10 出力順の指定 11 副問合せ 12 EXISTS 述語 13 実表の定義 14 データの挿入 15 列の追加 16 ビュー表の定義 17 データの正規化 18 DBMS 19 総合演習 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	プログラミング
実務家教員授業	－
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのアセンブラ言語の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのアセンブラ言語の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	- COMET II 概論 - CASL II の概要① - CASL II の概要② - CASL II の概要③ - アセンブラ命令① - アセンブラ命令② - アセンブラ命令③ - 機械語命令（算術演算命令）① - 機械語命令（算術演算命令）② - 機械語命令（論理演算命令・シフト演算命令）① - 機械語命令（論理演算命令・シフト演算命令）② - 機械語命令（比較演算命令・分岐命令）① - 機械語命令（比較演算命令・分岐命令）② - 機械語命令（スタック操作命令）① - 機械語命令（スタック操作命令）② - 機械語命令（サブルーチンコール）① - 機械語命令（サブルーチンコール）② - マクロ命令① - マクロ命令② - 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	プログラム実習
実務家教員授業	－
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	基本情報技術者試験に合格するための C A S L の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するための C A S L の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	- 乗算プログラム① - 乗算プログラム② - 除算プログラム① - 除算プログラム② - ビット操作① - ビット操作② - ビット操作③ - 文字列サーチ① - 文字列サーチ② - 文字列の移動① - 文字列の移動② - 数値から16進数文字列への変換① - 数値から16進数文字列への変換② 16進数文字列から数値への変換① 16進数文字列から数値への変換② - 数値から10進数文字列への変換① - 数値から10進数文字列への変換② 10進数文字列から数値への変換① 10進数文字列から数値への変換② - 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	プログラム設計																																								
実務家教員授業	－																																								
学部・学科	情報処理工学科2年制 情報経理科																																								
履修年次	1 年次																																								
開講学期	2 学期																																								
科目区分	選択																																								
授業方法	講義および演習																																								
授業時間	4 0 時間																																								
授業コマ数	2 0 コマ																																								
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのシステム設計の基礎知識を学ぶ																																								
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																																								
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのシステム設計の基礎知識を習得する																																								
教科書	オリジナルテキスト																																								
特記																																									
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>アルゴリズムの表現方法</td></tr> <tr><td>2</td><td>データ構造とアルゴリズム①</td></tr> <tr><td>3</td><td>データ構造とアルゴリズム②</td></tr> <tr><td>4</td><td>代表的なアルゴリズム①</td></tr> <tr><td>5</td><td>代表的なアルゴリズム②</td></tr> <tr><td>6</td><td>代表的なアルゴリズム③</td></tr> <tr><td>7</td><td>代表的なアルゴリズム④</td></tr> <tr><td>8</td><td>代表的なアルゴリズム⑤</td></tr> <tr><td>9</td><td>ハードウェア①</td></tr> <tr><td>10</td><td>ハードウェア②</td></tr> <tr><td>11</td><td>ソフトウェア①</td></tr> <tr><td>12</td><td>ソフトウェア②</td></tr> <tr><td>13</td><td>ネットワーク①</td></tr> <tr><td>14</td><td>ネットワーク②</td></tr> <tr><td>15</td><td>データベース①</td></tr> <tr><td>16</td><td>データベース②</td></tr> <tr><td>17</td><td>セキュリティ①</td></tr> <tr><td>18</td><td>セキュリティ②</td></tr> <tr><td>19</td><td>ソフトウェア設計①</td></tr> <tr><td>20</td><td>ソフトウェア設計②</td></tr> </table>	1	アルゴリズムの表現方法	2	データ構造とアルゴリズム①	3	データ構造とアルゴリズム②	4	代表的なアルゴリズム①	5	代表的なアルゴリズム②	6	代表的なアルゴリズム③	7	代表的なアルゴリズム④	8	代表的なアルゴリズム⑤	9	ハードウェア①	10	ハードウェア②	11	ソフトウェア①	12	ソフトウェア②	13	ネットワーク①	14	ネットワーク②	15	データベース①	16	データベース②	17	セキュリティ①	18	セキュリティ②	19	ソフトウェア設計①	20	ソフトウェア設計②
1	アルゴリズムの表現方法																																								
2	データ構造とアルゴリズム①																																								
3	データ構造とアルゴリズム②																																								
4	代表的なアルゴリズム①																																								
5	代表的なアルゴリズム②																																								
6	代表的なアルゴリズム③																																								
7	代表的なアルゴリズム④																																								
8	代表的なアルゴリズム⑤																																								
9	ハードウェア①																																								
10	ハードウェア②																																								
11	ソフトウェア①																																								
12	ソフトウェア②																																								
13	ネットワーク①																																								
14	ネットワーク②																																								
15	データベース①																																								
16	データベース②																																								
17	セキュリティ①																																								
18	セキュリティ②																																								
19	ソフトウェア設計①																																								
20	ソフトウェア設計②																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																																								
備考																																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																																													
授業科目	基本情報総合																																																													
実務家教員授業	－																																																													
学部・学科	情報処理工学科2年制 情報経理科																																																													
履修年次	1年次																																																													
科目区分	選択																																																													
授業方法	講義および演習																																																													
授業時間	40時間																																																													
授業コマ数	20コマ																																																													
授業概要	基本情報技術者試験に合格するために模擬試験を行う																																																													
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う																																																													
達成目標	基本情報技術者試験の模擬試験にて合格点を取ることができる																																																													
教科書	項目別答練																																																													
特記																																																														
授業計画	<table border="1"> <tbody> <tr><td>1</td><td>ハードウェア・ソフトウェア</td><td>項目別答練①</td></tr> <tr><td>2</td><td>ハードウェア・ソフトウェア</td><td>項目別答練① 解説</td></tr> <tr><td>3</td><td>ハードウェア・ソフトウェア</td><td>項目別答練②</td></tr> <tr><td>4</td><td>ハードウェア・ソフトウェア</td><td>項目別答練② 解説</td></tr> <tr><td>5</td><td>ネットワーク</td><td>項目別答練①</td></tr> <tr><td>6</td><td>ネットワーク</td><td>項目別答練① 解説</td></tr> <tr><td>7</td><td>ネットワーク</td><td>項目別答練②</td></tr> <tr><td>8</td><td>ネットワーク</td><td>項目別答練② 解説</td></tr> <tr><td>9</td><td>データベース</td><td>項目別答練①</td></tr> <tr><td>10</td><td>データベース</td><td>項目別答練① 解説</td></tr> <tr><td>11</td><td>データベース</td><td>項目別答練②</td></tr> <tr><td>12</td><td>データベース</td><td>項目別答練② 解説</td></tr> <tr><td>13</td><td>セキュリティ</td><td>項目別答練①</td></tr> <tr><td>14</td><td>セキュリティ</td><td>項目別答練① 解説</td></tr> <tr><td>15</td><td>セキュリティ</td><td>項目別答練②</td></tr> <tr><td>16</td><td>セキュリティ</td><td>項目別答練② 解説</td></tr> <tr><td>17</td><td>ソフトウェア設計</td><td>項目別答練①</td></tr> <tr><td>18</td><td>ソフトウェア設計</td><td>項目別答練① 解説</td></tr> <tr><td>19</td><td>ソフトウェア設計</td><td>項目別答練②</td></tr> <tr><td>20</td><td>ソフトウェア設計</td><td>項目別答練② 解説</td></tr> </tbody> </table>		1	ハードウェア・ソフトウェア	項目別答練①	2	ハードウェア・ソフトウェア	項目別答練① 解説	3	ハードウェア・ソフトウェア	項目別答練②	4	ハードウェア・ソフトウェア	項目別答練② 解説	5	ネットワーク	項目別答練①	6	ネットワーク	項目別答練① 解説	7	ネットワーク	項目別答練②	8	ネットワーク	項目別答練② 解説	9	データベース	項目別答練①	10	データベース	項目別答練① 解説	11	データベース	項目別答練②	12	データベース	項目別答練② 解説	13	セキュリティ	項目別答練①	14	セキュリティ	項目別答練① 解説	15	セキュリティ	項目別答練②	16	セキュリティ	項目別答練② 解説	17	ソフトウェア設計	項目別答練①	18	ソフトウェア設計	項目別答練① 解説	19	ソフトウェア設計	項目別答練②	20	ソフトウェア設計	項目別答練② 解説
1	ハードウェア・ソフトウェア	項目別答練①																																																												
2	ハードウェア・ソフトウェア	項目別答練① 解説																																																												
3	ハードウェア・ソフトウェア	項目別答練②																																																												
4	ハードウェア・ソフトウェア	項目別答練② 解説																																																												
5	ネットワーク	項目別答練①																																																												
6	ネットワーク	項目別答練① 解説																																																												
7	ネットワーク	項目別答練②																																																												
8	ネットワーク	項目別答練② 解説																																																												
9	データベース	項目別答練①																																																												
10	データベース	項目別答練① 解説																																																												
11	データベース	項目別答練②																																																												
12	データベース	項目別答練② 解説																																																												
13	セキュリティ	項目別答練①																																																												
14	セキュリティ	項目別答練① 解説																																																												
15	セキュリティ	項目別答練②																																																												
16	セキュリティ	項目別答練② 解説																																																												
17	ソフトウェア設計	項目別答練①																																																												
18	ソフトウェア設計	項目別答練① 解説																																																												
19	ソフトウェア設計	項目別答練②																																																												
20	ソフトウェア設計	項目別答練② 解説																																																												
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																																																													
備考																																																														

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	オフィスソフト実習
実務家教員授業	－
学部・学科	情報処理工学科2年制 情報経理科
履修年次	1年次
科目区分	選択
授業方法	講義および実習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	Word、Excelの基本的な機能や操作方法を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習
達成目標	基本的かつ総合的なWord, Excelのスキルの養成を目的とする
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成、移動、書式設定 2 ワークシートやブックのオプションと表示のカスタマイズ 3 配布するためのワークシートやブックの設定 4 セルやセル範囲にデータを挿入、セルやセル範囲の書式を設定 5 テーブルの作成、管理、スタイルと設定オプションの管理 6 関数を使用したデータの集計 7 関数を使用した条件付計算の実行 8 関数を使用した文字列の整形、変更 9 グラフの作成、グラフの書式設定 10 オブジェクトを挿入する、書式を設定する 11 文書の作成、移動、書式設定 12 文書のオプションと表示をカスタマイズ 13 文書の印刷、保存 14 文字列や段落の挿入、書式設定 15 文字列や段落の書式設定、並び替え、グループ化 16 表を作成する、表を変更する 17 参照のための情報や記号の作成、管理 18 標準の参考資料の作成、管理 19 グラフィック要素の挿入、書式設定 20 SmartArtの挿入、書式設定
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コンピュータ基礎知識Ⅱ	
実務家教員授業	—	
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	コンピュータの構成、ネットワーク、データベース、セキュリティ等の技術を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	職業人が備えておくべき情報技術に関する知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	基礎理論Ⅱ
	2	アルゴリズムとプログラミングⅡ
	3	コンピュータ構成要素Ⅱ
	4	システム構成要素Ⅱ
	5	ソフトウェアⅡ①
	6	ソフトウェアⅡ②
	7	ソフトウェアⅡ③
	8	ハードウェア・ヒューマンインタフェースⅡ
	9	マルチメディアⅡ①
	10	マルチメディアⅡ②
	11	マルチメディアⅡ③
	12	データベースⅡ①
	13	データベースⅡ②
	14	データベースⅡ③
	15	ネットワークⅡ①
	16	ネットワークⅡ②
	17	ネットワークⅡ③
	18	セキュリティⅡ①
	19	セキュリティⅡ②
	20	セキュリティⅡ③
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	アプリケーション基礎知識	
実務家教員	－	
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	Officeソフト：Word、Excel、PowerPointの操作学習	
授業の進め方	テキストによる講義と基礎的な実習	
達成目標	Officeソフトの基本的な操作方法を身につける	
教科書	情報利活用 基本演習	
特記		
授業計画	1	コンピューターの基本操作
	2	一般的なビジネス文書の作成
	3	シンプルなレポートや報告書の作成
	4	表、画像、図形を使った文書の作成
	5	効果測定 文書作成
	6	プレゼンテーションの企画①
	7	プレゼンテーションの企画②
	8	わかりやすいストーリー構成
	9	センスアップするレイアウトデザイン①
	10	センスアップするレイアウトデザイン②
	11	イメージを伝えるイラスト・写真活用①
	12	イメージを伝えるイラスト・写真活用②
	13	表作成の基本操作①
	14	表作成の基本操作②
	15	見やすく使いやすい表にする編集操作①
	16	見やすく使いやすい表にする編集操作②
	17	数式・関数を活用した集計表の作成①
	18	数式・関数を活用した集計表の作成②
	19	グラフの基本
	20	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスコミュニケーション
実務家教員	—
学部・学科	情報処理工学科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 学校と職場の違い① 2 学校と職場の違い② 3 学校と職場の違い③ 4 職場のマナー① 5 職場のマナー② 6 仕事の進め方① 7 仕事の進め方② 8 報告、連絡、相談① 9 報告、連絡、相談② 10 挨拶① 11 挨拶② 12 笑顔、お辞儀① 13 笑顔、お辞儀② 14 敬語① 15 敬語② 16 応対の基本① 17 応対の基本② 18 電話応対① 19 電話応対② 20 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	OA基礎知識
実務家教員授業	—
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科
履修年次	1年次
開講学期	2学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	80時間
授業コマ数	40コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成 2 文章内の移動 3 文章の書式設定① 4 文章の書式設定② 5 文章の書式設定③ 6 オプションの設定、表示のカスタマイズ① 7 オプションの設定、表示のカスタマイズ② 8 オプションの設定、表示のカスタマイズ③ 9 文章の印刷、保存① 10 文章の印刷、保存② 11 文字列・段落の挿入① 12 文字列・段落の挿入② 13 文字列・段落の挿入③ 14 文字列・段落の書式設定① 15 文字列・段落の書式設定② 16 文字列・段落の書式設定③ 17 文字列・段落の並び替え、グループ化① 18 文字列・段落の並び替え、グループ化② 19 文字列・段落の並び替え、グループ化③ 20 タイピング演習① 21 タイピング演習② 22 タイピング演習③ 23 タイピング演習④ 24 タイピング演習⑤ 25 タイピング演習⑥ 26 タイピング演習⑦ 27 タイピング演習⑧ 28 タイピング演習⑨ 29 タイピング演習⑩ 30 問題演習① 31 問題演習② 32 問題演習③ 33 問題演習④ 34 問題演習⑤ 35 問題演習⑥ 36 問題演習⑦ 37 問題演習⑧ 38 問題演習⑨ 39 問題演習⑩ 40 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	パソコン実習		
実務家教員	－		
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科		
履修年次	1 年次		
開講学期	2 学期		
科目区分	選択		
授業方法	演習		
授業時間	1 2 0 時間		
授業コマ数	6 0 コマ		
授業概要	Wordを操作するための基礎的な知識を身につける実習		
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る		
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	基本操作①	31 一般的なビジネス文書の作成②
	2	基本操作②	32 一般的なビジネス文書の作成③
	3	基本操作③	33 一般的なビジネス文書の作成④
	4	基本操作④	34 一般的なビジネス文書の作成⑤
	5	基本操作⑤	35 一般的なビジネス文書の作成⑥
	6	基本操作⑥	36 一般的なビジネス文書の作成⑦
	7	基本操作⑦	37 一般的なビジネス文書の作成⑧
	8	基本操作⑧	38 一般的なビジネス文書の作成⑨
	9	基本操作⑨	39 一般的なビジネス文書の作成⑩
	10	基本操作⑩	40 一般的なビジネス文書の作成⑥
	11	基本操作⑪	41 一般的なビジネス文書の作成⑦
	12	基本操作⑫	42 一般的なビジネス文書の作成⑧
	13	基本操作⑬	43 一般的なビジネス文書の作成⑨
	14	基本操作⑭	44 一般的なビジネス文書の作成⑩
	15	文書の作成と管理①	45 シンプルなレポートや報告書の作成①
	16	文書の作成と管理②	46 シンプルなレポートや報告書の作成②
	17	文書の作成と管理③	47 シンプルなレポートや報告書の作成③
	18	文章の作成と管理④	48 シンプルなレポートや報告書の作成④
	19	文章の作成と管理⑤	49 シンプルなレポートや報告書の作成⑤
	20	文章の作成と管理⑥	50 シンプルなレポートや報告書の作成⑥
	21	文章の作成と管理⑦	51 シンプルなレポートや報告書の作成⑦
	22	文章の作成と管理⑧	52 シンプルなレポートや報告書の作成⑧
	23	文章の作成と管理⑨	53 シンプルなレポートや報告書の作成⑨
	24	文章の作成と管理⑩	54 シンプルなレポートや報告書の作成⑩
	25	文章の作成と管理⑪	55 シンプルなレポートや報告書の作成⑪
	26	文章の作成と管理⑫	56 シンプルなレポートや報告書の作成⑫
	27	文章の作成と管理⑬	57 シンプルなレポートや報告書の作成⑬
	28	文章の作成と管理⑭	58 シンプルなレポートや報告書の作成⑭
	29	文章の作成と管理⑮	59 シンプルなレポートや報告書の作成⑮
	30	一般的なビジネス文書の作成①	60 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	パソコン実習Ⅱ			
実務家教員	－			
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科			
履修年次	1 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	8 0 時間			
授業コマ数	4 0 コマ			
授業概要	Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習			
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	表作成の基本操作①	21	数式・関数を活用した集計表の作成④
	2	表作成の基本操作②	22	数式・関数を活用した集計表の作成⑤
	3	表作成の基本操作③	23	数式・関数を活用した集計表の作成⑥
	4	表作成の基本操作④	24	ワークシート間の集計①
	5	表作成の基本操作⑤	25	ワークシート間の集計②
	6	表作成の基本操作⑥	26	ワークシート間の集計③
	7	見やすく使いやすい表にする編集操作①	27	ワークシート間の集計④
	8	見やすく使いやすい表にする編集操作②	28	ワークシート間の集計⑤
	9	見やすく使いやすい表にする編集操作③	29	グラフの基本①
	10	見やすく使いやすい表にする編集操作④	30	グラフの基本②
	11	見やすく使いやすい表にする編集操作⑤	31	グラフの基本③
	12	表、画像、図形を使った文書の作成①	32	グラフの基本④
	13	表、画像、図形を使った文書の作成②	33	グラフの基本⑤
	14	表、画像、図形を使った文書の作成③	34	目的に応じたグラフの作成と編集①
	15	表、画像、図形を使った文書の作成④	35	目的に応じたグラフの作成と編集②
	16	表、画像、図形を使った文書の作成⑤	36	目的に応じたグラフの作成と編集③
	17	表、画像、図形を使った文書の作成⑥	37	目的に応じたグラフの作成と編集④
	18	数式・関数を活用した集計表の作成①	38	目的に応じたグラフの作成と編集⑤
	19	数式・関数を活用した集計表の作成②	39	目的に応じたグラフの作成と編集⑥
	20	数式・関数を活用した集計表の作成③	40	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	高等商業簿記論
実務家教員	－
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	8 0 時間
授業コマ数	4 0 コマ
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記1級検定の会計知識および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	- 現金預金、債権の譲渡、デリバティブ取引、有価証券、リース取引 - 貸倒引当金、ヘッジ会計、減損会計、社債、退職給付会計 - 資産除去債務、セール・アンド・リースバック取引、ストック・オプション - 自己株式、為替予約、外貨建有価証券、圧縮記帳 - 売価還元原価法、転換社債 - 電子記録債権、特別目的会社 - 剰余金の配当、固定資産 - 連結会計 - キャッシュフロー計算書 - 企業結合 - 返品調整引当金、外貨建有価証券（減損） - ヘッジ会計 - 本支店会計総合問題（在外支店） - 本支店会計総合問題（決算整理後合併残高試算表） - 決算整理後残高試算表作成① - 決算整理後残高試算表作成② - 損益計算書作成（各種財務諸表金額算定） - 損益計算書作成（財務諸表の注記に関する金額算定） - 連結損益計算書① - 連結損益計算書② - 連結貸借対照表① - 連結貸借対照表② - 会計上の変更 - 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題① - 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題② - 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題③ - 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題④ - 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑤ - 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑥ - 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑦ - 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑧ - 項目別問題対策①（テスト形式の問題解説） - 項目別問題対策②（テスト形式の問題解説） - 項目別問題対策③（テスト形式の問題解説） - 項目別問題対策④（テスト形式の問題解説） - 項目別問題対策⑤（テスト形式の問題解説） - 項目別問題対策⑥（テスト形式の問題解説） - 項目別問題対策⑦（テスト形式の問題解説） - 項目別問題対策⑧（テスト形式の問題解説） - 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	会計学		
実務家教員	－		
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科		
履修年次	1 年次		
開講学期	2 学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	8 0 時間		
授業コマ数	4 0 コマ		
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、会計基準のみならず適用指針など実務に直結する基礎について学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	現行基準の理論体系の理解と、会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1 財務諸表 2 有価証券 3 デリバティブ取引・ヘッジ会計 4 有形固定資産 5 割引現在価値 6 リース取引 7 固定資産の減損 8 研究開発費とソフトウェア 9 繰延資産 10 社債 11 引当金① 12 引当金② 13 退職給付① 14 退職給付② 15 資産除去債務 16 純資産 17 新株予約権と新株予約権付社債 18 ストック・オプション 19 税効果会計① 20 税効果会計②	21 外貨建取引① 22 外貨建取引② 23 商品売買等① 24 商品売買等② 25 商品売買等③ 26 工事契約 27 本支店会計① 28 本支店会計② 29 連結財務諸表 30 資本連結 31 成果連結 32 持分法 33 連結税効果会計 34 包括利益 35 在外子会社 36 企業結合 37 事業分離 38 C/F計算書 39 連結C/F計算書 40 確認テスト	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	高等工業会計論	
実務家教員	－	
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	8 0 時間	
授業コマ数	4 0 コマ	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容と経営戦略の基本的な内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業を前提とする会計処理と最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 工業簿記と原価計算 2 費目別計算① 3 費目別計算② 4 部門別計算① 5 部門別計算② 6 部門別計算③ 7 個別原価計算① 8 個別原価計算② 9 個別原価計算③ 10 総合原価計算① 11 総合原価計算② 12 総合原価計算③ 13 総合原価計算④ 14 標準原価計算① 15 標準原価計算② 16 標準原価計算③ 17 標準原価計算④ 18 標準原価計算⑤ 19 標準原価計算⑥ 20 直接原価計算	21 短期利益計画① 22 短期利益計画② 23 予算管理① 24 予算管理② 25 予算管理③ 26 意思決定会計① 27 意思決定会計② 28 意思決定会計③ 29 意思決定会計④ 30 意思決定会計⑤ 31 意思決定会計⑥ 32 意思決定会計⑦ 33 意思決定会計⑧ 34 工業簿記と原価計算まとめ① 35 工業簿記と原価計算まとめ② 36 工業簿記と原価計算まとめ③ 37 工業簿記と原価計算まとめ④ 38 工業簿記と原価計算まとめ⑤ 39 工業簿記と原価計算まとめ⑥ 40 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	高等原価計算論
実務家教員	－
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	8 0 時間
授業コマ数	4 0 コマ
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記1級検定の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 実際単純個別原価計算 2 部門別計算 3 部門別個別原価計算 4 実際工程別総合原価計算① 5 実際工程別総合原価計算② 6 連産品原価の計算および追加加工の意思決定 7 標準総合原価計算（仕損費の処理） 8 標準総合原価計算（配合差異・歩留差異） 9 標準総合原価計算（原価差異の追加配賦） 10 標準個別原価計算① 11 標準個別原価計算② 12 実際直接工程別総合原価計算① 13 実際直接工程別総合原価計算② 14 実際直接部門別個別原価計算③ 15 実際直接部門別個別原価計算④ 16 CVP分析① 17 CVP分析② 18 直接標準総合原価計算（総合予算編成 四半期現金収支） 19 直接標準総合原価計算（総合予算編成 資金調達） 20 予算統制（予算財務諸表作成） 21 直接標準原価計算（営業利益の差異分析） 22 事業部の業績測定 23 業務的意思決定（原価分解） 24 業務的意思決定（最適セールスミックス、新規注文の引受可否） 25 業務的意思決定（部品の自製か購入か、優劣分岐点分析、経済的発注量） 26 構造的意決定（各種評価方法、取換投資、拡張投資） 27 構造的意決定（差額キャッシュフローの計算） 28 戦略的原価計算（損益・優劣分岐点） 29 戦略的原価計算（無限反復投資） 30 戦略的原価計算（原価企画・原価維持） 31 戦略的原価計算（原価改善、品質原価計算） 32 項目別問題対策①（テスト形式の問題解説） 33 項目別問題対策②（テスト形式の問題解説） 34 項目別問題対策③（テスト形式の問題解説） 35 項目別問題対策④（テスト形式の問題解説） 36 項目別問題対策⑤（テスト形式の問題解説） 37 項目別問題対策⑥（テスト形式の問題解説） 38 項目別問題対策⑦（テスト形式の問題解説） 39 項目別問題対策⑧（テスト形式の問題解説） 40 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1 級総合	
実務家教員	－	
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	8 0 時間	
授業コマ数	4 0 コマ	
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記1級検定合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	商業簿記 総合問題演習①（テスト形式_基礎編）
	2	工業簿記 総合問題演習①（テスト形式_基礎編）
	3	商業簿記 総合問題演習②（テスト形式_基礎編）
	4	工業簿記 総合問題演習②（テスト形式_基礎編）
	5	商業簿記 総合問題演習③（テスト形式_基礎編）
	6	工業簿記 総合問題演習③（テスト形式_基礎編）
	7	商業簿記 総合問題演習④（テスト形式_基礎編）
	8	工業簿記 総合問題演習④（テスト形式_基礎編）
	9	商業簿記 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）
	10	工業簿記 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）
	11	商業簿記 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）
	12	工業簿記 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）
	13	商業簿記 総合問題演習①（テスト形式_応用編）
	14	工業簿記 総合問題演習①（テスト形式_応用編）
	15	商業簿記 総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	16	工業簿記 総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	17	商業簿記 総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	18	工業簿記 総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	19	商業簿記 総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	20	工業簿記 総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	21	商業簿記 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	22	工業簿記 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	23	商業簿記 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	24	工業簿記 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	25	商業簿記 総合問題演習⑦（テスト形式_応用編）
	26	工業簿記 総合問題演習⑦（テスト形式_応用編）
	27	商業簿記 総合問題演習⑧（テスト形式_応用編）
	28	工業簿記 総合問題演習⑧（テスト形式_応用編）
	29	直前模試①（テスト形式_直前模試）
	30	直前模試②（テスト形式_直前模試）
	31	直前模試③（テスト形式_直前模試）
	32	直前模試④（テスト形式_直前模試）
	33	直前模試⑤（テスト形式_直前模試）
	34	直前模試⑥（テスト形式_直前模試）
	35	直前模試⑦（テスト形式_直前模試）
	36	直前模試⑧（テスト形式_直前模試）
	37	直前模試⑨（テスト形式_直前模試）
	38	直前模試⑩（テスト形式_直前模試）
	39	直前模試⑪（テスト形式_直前模試）
	40	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	帳簿組織論		
実務家教員	－		
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科		
履修年次	1年次		
開講学期	2学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
授業時間	160時間		
授業コマ数	80コマ		
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	商企業を前提とした記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1 総論	41 為替換算会計①（外貨建取引）	
	2 簿記一巡の手続	42 為替換算会計②（為替予約）	
	3 財務諸表①	43 株式会社の純資産①（意義、純資産）	
	4 財務諸表②	44 株式会社の純資産②（株式の発行）	
	5 現金預金①	45 株式会社の純資産③（剰余金の配当等）	
	6 現金預金②	46 株式会社の純資産④（株主資本の係数の変動）	
	7 現金預金③	47 企業結合①	
	8 銀行勘定調整表①	48 企業結合②	
	9 銀行勘定調整表②	49 企業結合③	
	10 銀行勘定調整表③	50 企業結合④	
	11 債権・債務①	51 企業結合⑤	
	12 債権・債務②	52 税金①（消費税）	
	13 債権・債務③	53 税金②（法人税等）	
	14 棚卸資産①	54 税金③（税効果会計－1）	
	15 棚卸資産②	55 税金④（税効果会計－2）	
	16 棚卸資産③	56 帳簿組織①	
	17 棚卸資産④	57 帳簿組織②	
	18 有価証券①（有価証券の分類）	58 伝票会計①	
	19 有価証券②（売買目的有価証券）	59 伝票会計②	
	20 有価証券③（満期保有目的債券）	60 決算①（決算整理）	
	21 有価証券④（子会社株式、関連会社株式）	61 決算②（帳簿決算手続き）	
	22 有価証券⑤（その他の有価証券）	62 決算③（財務諸表）	
	23 有価証券⑥（端数利息）	63 決算④（精算表）	
	24 固定資産①（有形固定資産の取得、減価償却の方法、建設仮勘定）	64 製造業を営む会社の決算処理	
	25 固定資産②（有形固定資産の割賦購入）	65 本支店会計①（意義、目的、本支店間取引、支店相互間取引）	
	26 固定資産③（修繕費および改良費）	66 本支店会計②（決算）	
	27 固定資産④（法人税法上の減価償却）	67 連結会計①（財務諸表）	
	28 固定資産⑤（圧縮記帳）	68 連結会計②（支配獲得日の連結手続き）	
	29 固定資産⑥（有形固定資産の売却）	69 連結会計③（支配獲得後の連結手続き）	
	30 固定資産⑦（買換え）	70 連結会計④（連結会社相互間取引の相殺消去）	
	31 固定資産⑧（除却、滅失）	71 連結会計⑤（未実現利益の控除）	
	32 固定資産⑨（リース会計）	72 連結会計⑥（連結株主資本等変動計算書）	
	33 固定資産⑩（無形固定資産）	73 連結会計⑦（連結第1年度－1）	
	34 固定資産⑪（ソフトウェア）	74 連結会計⑧（連結第1年度－2）	
	35 固定資産⑫（投資その他資産）	75 連結会計⑨（連結第2年度－1）	
	36 債務保証	76 連結会計⑩（連結第2年度－2）	
	37 引当金①（貸倒引当金）	77 連結会計⑪（連結精算表－1）	
	38 引当金②（貸倒引当金発生時の会計処理）	78 連結会計⑫（連結精算表－2）	
	39 引当金③（その他の引当金）	79 確認テスト（第1回）	
	40 収益と費用	80 確認テスト（第2回）	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	個別原価計算論	
実務家教員	－	
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科	
履修年次	1年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	160時間	
授業コマ数	80コマ	
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 工業簿記の基礎	41 工企業の財務諸表①（製造原価報告書）
	2 工業簿記の記帳体系①（個別原価計算）	42 工企業の財務諸表②（損益計算書）
	3 工業簿記の記帳体系②（決算）	43 工企業の財務諸表③（貸借対照表）
	4 材料費会計①（材料の購入、返品、消費、棚卸減耗①）	44 工業簿記の記帳体系①（総合原価計算①）
	5 材料費会計②（材料の購入、返品、消費、棚卸減耗②）	45 工業簿記の記帳体系①（総合原価計算②）
	6 材料費会計③（予定消費価格による材料費の計算と記帳①）	46 総合原価計算①（単純総合原価計算）
	7 材料費会計④（予定消費価格による材料費の計算と記帳②）	47 総合原価計算②（月末仕掛品原価の評価）
	8 材料費会計⑤（まとめ）	48 総合原価計算③（材料の投入形態）
	9 労務費会計①（支払額の計算と記帳①）	49 総合原価計算④（損益計算書の作成）
	10 労務費会計②（支払額の計算と記帳②）	50 総合原価計算⑤（減損の処理）
	11 労務費会計③（消費額の計算と記帳①）	51 総合原価計算⑥（仕損の処理）
	12 労務費会計④（消費額の計算と記帳②）	52 総合原価計算⑦（まとめ）
	13 労務費会計⑤（予定消費貨率による消費額の計算と記帳①）	53 工程別総合原価計算①（月末仕掛品原価の計算）
	14 労務費会計⑥（予定消費貨率による消費額の計算と記帳②）	54 工程別総合原価計算②（半製品の処理）
	15 労務費会計⑦（予定消費貨率による消費額の計算と記帳③）	55 工程別総合原価計算③（まとめ）
	16 労務費会計⑧（まとめ）	56 組別総合原価計算①
	17 経費会計①	57 組別総合原価計算②
	18 経費会計②	58 組別総合原価計算③（まとめ）
	19 経費会計③（まとめ）	59 等級別総合原価計算①（完成品総合原価に等価係数を用いる方法）
	20 製造間接費会計①（実際配賦と予定配賦①）	60 等級別総合原価計算②（当月製造費用に等価係数を用いる方法）
	21 製造間接費会計②（実際配賦と予定配賦②）	61 等級別総合原価計算③（まとめ）
	22 製造間接費会計③（実際配賦と予定配賦③）	62 標準原価計算①（月末仕掛品および完成品原価の計算）
	23 製造間接費会計④（実際配賦と予定配賦④）	63 標準原価計算②（原価差異の計算）
	24 製造間接費会計⑤（差異の原因別分析①）	64 標準原価計算③（仕掛品勘定の記帳方法）
	25 製造間接費会計⑥（差異の原因別分析②）	65 標準原価計算④（直接材料費差異および直接労務費差異の原因別分析）
	26 製造間接費会計⑦（差異の原因別分析③）	66 標準原価計算⑤（製造間接費差異の原因別分析①）
	27 単純個別原価計算①（単純個別原価計算①）	67 標準原価計算⑥（製造間接費差異の原因別分析②）
	28 単純個別原価計算②（単純個別原価計算②）	68 標準原価計算⑦（製造間接費差異の原因別分析③）
	29 単純個別原価計算③（仕損の処理①）	69 標準原価計算⑧（まとめ）
	30 単純個別原価計算④（仕損の処理②）	70 原価・営業量・利益関係の分析①
	31 部門別計算①（部門別計算の手続きと記帳体系①）	71 原価・営業量・利益関係の分析②
	32 部門別計算②（部門別計算の手続きと記帳体系②）	72 原価・営業量・利益関係の分析③（まとめ）
	33 部門別計算③（部門個別費と部門共通費①）	73 直接原価計算①（直接原価計算）
	34 部門別計算④（部門個別費と部門共通費②）	74 直接原価計算②（固定費調整）
	35 部門別計算⑤（補助部門費の配賦①）	75 直接原価計算③（まとめ）
	36 部門別計算⑥（補助部門費の配賦②）	76 工場会計の独立①
	37 部門別計算⑦（仕掛品の計算①）	77 工場会計の独立②
	38 部門別計算⑧（仕掛品の計算②）	78 工場会計の独立③（まとめ）
	39 部門別計算⑨（差異の原因別分析①）	79 確認テスト（第1回）
	40 部門別計算⑩（差異の原因別分析②）	80 確認テスト（第2回）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級総合Ⅱ			
実務家教員	－			
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科			
履修年次	1 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	8 0 時間			
授業コマ数	4 0 コマ			
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1 総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_中級編） 2 総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_中級編） 3 総合問題対策③（商業簿記と工業簿記_中級編） 4 総合問題対策④（商業簿記と工業簿記_中級編） 5 総合問題対策⑤（商業簿記と工業簿記_中級編） 6 総合問題対策⑥（商業簿記と工業簿記_中級編） 7 総合問題対策⑦（商業簿記と工業簿記_中級編） 8 総合問題対策⑧（商業簿記と工業簿記_中級編） 9 総合問題対策⑨（商業簿記と工業簿記_中級編） 10 総合問題対策⑩（商業簿記と工業簿記_中級編） 11 総合問題対策⑪（商業簿記と工業簿記_中級編） 12 総合問題対策⑫（商業簿記と工業簿記_中級編） 13 総合問題対策⑬（商業簿記と工業簿記_中級編） 14 総合問題対策⑭（商業簿記と工業簿記_中級編） 15 総合問題対策⑮（商業簿記と工業簿記_中級編） 16 総合問題対策⑯（商業簿記と工業簿記_中級編） 17 総合問題対策⑰（商業簿記と工業簿記_中級編） 18 総合問題対策⑱（商業簿記と工業簿記_中級編） 19 総合問題対策⑲（商業簿記と工業簿記_中級編） 20 総合問題対策⑳（商業簿記と工業簿記_中級編）	1 総合問題演習①（テスト形式_中級編） 2 総合問題演習②（テスト形式_中級編） 3 総合問題演習③（テスト形式_中級編） 4 総合問題演習④（テスト形式_中級編） 5 総合問題演習⑤（テスト形式_中級編） 6 総合問題演習⑥（テスト形式_中級編） 7 総合問題演習①（テスト形式_応用編） 8 総合問題演習②（テスト形式_応用編） 9 総合問題演習③（テスト形式_応用編） 10 総合問題演習④（テスト形式_応用編） 11 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編） 12 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編） 13 総合問題演習⑦（テスト形式_応用編） 14 総合問題演習⑧（テスト形式_応用編） 15 総合問題演習①（テスト形式_直前模試） 16 総合問題演習②（テスト形式_直前模試） 17 総合問題演習③（テスト形式_直前模試） 18 総合問題演習④（テスト形式_直前模試） 19 総合問題演習⑤（テスト形式_直前模試） 20 確認テスト		
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ハードウェアⅡ
実務家教員授業	－
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのハードウェアの基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのハードウェアの基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 離散数学（基数・数値の表現） 2 離散数学（シフト演算・論理演算） 3 応用数学 4 情報に関する理論 5 データ構造（配列・リスト） 6 データ構造（スタック・キュー・木構造） 7 アルゴリズム（流れ図・ソート） 8 アルゴリズム（探索・文字列） 9 プログラミング 10 プログラム言語 11 プロセッサ（コンピュータの構成） 12 プロセッサ（レジスタ） 13 プロセッサの性能 14 メモリ・バス 15 入出力インタフェース・入出力装置 16 補助記憶装置 17 システムの構成 18 信頼性設計 19 信頼性指標と信頼性計算 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ソフトウェアⅡ
実務家教員授業	－
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのソフトウェアの基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのソフトウェアの基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 オペレーティングシステム（OSの種類と特徴） 2 オペレーティングシステム（タスク管理） 3 オペレーティングシステム（入出力管理・記憶管理） 4 オペレーティングシステム（仮想記憶方式） 5 問題演習 6 ミドルウェア 7 ファイルシステム 8 開発ツール 9 オープンソースソフトウェア 10 問題演習 11 電気・電子回路 12 構成部品及び要素と実装 13 問題演習 14 ヒューマンインタフェース技術 15 インタフェース設計 16 マルチメディア技術（音声処理） 17 マルチメディア技術（静止画処理） 18 マルチメディア応用 19 問題演習 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ネットワーク基礎知識
実務家教員授業	－
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのネットワークの基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのネットワークの基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 通信回線 2 ルータ 3 IPアドレス 4 IPアドレスの有効利用 5 IPアドレスの設定 6 ファイアウォールとDMZ 7 プロキシサーバ 8 ルーティング制御 9 伝送制御プロトコル 10 TCP/IP 11 データリンク層のプロトコル 12 ネットワーク層のプロトコル 13 トランスポート層のプロトコル 14 アプリケーション層のプロトコル 15 通信回線の能力を表す指標 16 待ち行列モデル 17 トラフィック量の計算 18 誤り制御 19 総合演習 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	データベース管理
実務家教員授業	－
学部・学科	情報処理工学科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのデータベースの基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのデータベースの基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 データベース言語（SQL） 2 単純な抽出、抽出条件の指定 3 複数条件の指定、抽出条件の値の範囲指定 4 抽出条件の値の指定 5 表の結合① 6 表の結合② 7 集約関数の利用 8 パターン文字の利用 9 グループごとの抽出 10 出力順の指定 11 副問合せ 12 EXISTS 述語 13 実表の定義 14 データの挿入 15 列の追加 16 ビュー表の定義 17 データの正規化 18 DBMS 19 総合演習 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	プログラミングⅡ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
授業方法	講義および演習	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのアセンブラ言語の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのアセンブラ言語の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	COMETⅡ 概論
	2	CASLⅡ の概要①
	3	CASLⅡ の概要②
	4	CASLⅡ の概要③
	5	アセンブラ命令①
	6	アセンブラ命令②
	7	アセンブラ命令③
	8	機械語命令（算術演算命令）①
	9	機械語命令（算術演算命令）②
	10	機械語命令（論理演算命令・シフト演算命令）①
	11	機械語命令（論理演算命令・シフト演算命令）②
	12	機械語命令（比較演算命令・分岐命令）①
	13	機械語命令（比較演算命令・分岐命令）②
	14	機械語命令（スタック操作命令）①
	15	機械語命令（スタック操作命令）②
	16	機械語命令（サブルーチンコール）①
	17	機械語命令（サブルーチンコール）②
	18	マクロ命令①
	19	マクロ命令②
	20	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基本情報総合Ⅱ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	基本情報技術者試験に合格するために模擬試験を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	基本情報技術者試験の模擬試験にて合格点を取ることができる	
教科書	項目別答練	
特記		
授業計画	1	ハードウェア・ソフトウェア 項目別答練①
	2	ハードウェア・ソフトウェア 項目別答練① 解説
	3	ハードウェア・ソフトウェア 項目別答練②
	4	ハードウェア・ソフトウェア 項目別答練② 解説
	5	ネットワーク 項目別答練①
	6	ネットワーク 項目別答練① 解説
	7	ネットワーク 項目別答練②
	8	ネットワーク 項目別答練② 解説
	9	データベース 項目別答練①
	10	データベース 項目別答練① 解説
	11	データベース 項目別答練②
	12	データベース 項目別答練② 解説
	13	セキュリティ 項目別答練①
	14	セキュリティ 項目別答練① 解説
	15	セキュリティ 項目別答練②
	16	セキュリティ 項目別答練② 解説
	17	ソフトウェア設計 項目別答練①
	18	ソフトウェア設計 項目別答練① 解説
	19	ソフトウェア設計 項目別答練②
	20	ソフトウェア設計 項目別答練② 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コンピュータアーキテクチャ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためにコンピュータアーキテクチャの基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためにコンピュータアーキテクチャの基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	2進数と16進数
	2	固定小数点と浮動小数点
	3	光の3原色と色の3原色
	4	画像の品質とVRAM
	5	標本化（サンプリング）
	6	量子化
	7	ハフマン符号化
	8	ランレングス符号化
	9	処理装置
	10	記憶装置と媒体
	11	入出力装置
	12	命令実行方式
	13	システム構成
	14	タスクスケジューリング
	15	排他制御
	16	記憶管理
	17	ファイルシステム
	18	言語処理ツール
	19	ソフトウェア品質
	20	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	システム設計
実務家教員授業	－
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのシステム設計の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのシステム設計の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 開発プロセス・手法 2 要件定義① システム概要 3 要件定義② 効果（定性的、定量的） 4 要件定義③ システム概要図 5 要件定義④ ユースケース図 6 要件定義⑤ 機能階層図 7 要件定義⑥ 入出力要件 8 問題演習① 9 外部設計① 画面遷移図 10 外部設計② 画面レイアウト設計図 11 外部設計③ 帳票仕様書 12 外部設計④ 入出力仕様書 13 外部設計⑤ データベース設計 14 外部設計⑥ テーブル定義書 15 問題演習② 16 内部設計① クラス図 17 内部設計② データフロー 18 内部設計③ モジュール詳細 19 問題演習③ 20 確認テスト

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	情報処理システム
実務家教員授業	－
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	基本情報技術者試験に合格するための情報処理システムの基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	基本情報技術者試験に合格するための情報処理システムの基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 開発プロセス・手法 2 要件定義① システム概要 3 要件定義② 効果（定性的、定量的） 4 要件定義③ システム概要図 5 要件定義④ ユースケース図 6 要件定義⑤ 機能階層図 7 要件定義⑥ 入出力要件 8 問題演習① 9 外部設計① 画面遷移図 10 外部設計② 画面レイアウト設計図 11 外部設計③ 帳票仕様書 12 外部設計④ 入出力仕様書 13 外部設計⑤ データベース設計 14 外部設計⑥ テーブル定義書 15 問題演習② 16 内部設計① クラス図 17 内部設計② データフロー 18 内部設計③ モジュール詳細 19 問題演習③ 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ネットワーク概論	
実務家教員授業	－	
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのネットワークの基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのネットワークの基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	通信回線
	2	ルータ
	3	IPアドレス
	4	IPアドレスの有効利用
	5	IPアドレスの設定
	6	ファイアウォールとDMZ
	7	プロキシサーバ
	8	ルーティング制御
	9	伝送制御プロトコル
	10	TCP/IP
	11	データリンク層のプロトコル
	12	ネットワーク層のプロトコル
	13	トランスポート層のプロトコル
	14	アプリケーション層のプロトコル
	15	通信回線の能力を表す指標
	16	待ち行列モデル
	17	トラフィック量の計算
	18	誤り制御
	19	総合演習
	20	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	セキュリティ概要	
実務家教員授業	－	
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのセキュリティの基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのセキュリティの基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	リスクアセスメント
	2	リスク対策
	3	ファイアウォール
	4	プロキシサーバ
	5	I D S ・ I P S
	6	アプリケーションセキュリティ
	7	コンピュータウイルス
	8	コンピュータウイルスの検出手法
	9	スパイウェア
	10	スパムメール
	11	暗号化技術
	12	認証技術
	13	利用者 I D とパスワード
	14	ワンタイムパスワード
	15	生体認証
	16	アクセス管理
	17	施設への入退室管理
	18	情報の取り扱いルールの設定
	19	問題演習
	20	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	システム評価	
実務家教員授業	－	
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	基本情報技術者試験に合格するためのシステム評価に関する基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	基本情報技術者試験に合格するためのシステム評価に関する基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ソフトウェア要件定義
	2	ソフトウェア方式設計
	3	ソフトウェア詳細設計
	4	ソフトウェアコード作成及びテスト
	5	ソフトウェア結合
	6	機能テスト
	7	性能テスト
	8	負荷テスト
	9	リグレーションテスト
	10	構造化チャート
	11	システム流れ図
	12	流れ図
	13	整列
	14	集計
	15	コントロールブレイク
	16	システム設計問題演習
	17	ユースケース図
	18	クラス図
	19	シーケンス図
	20	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	インターネット技術
実務家教員授業	－
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	C C N A 学習のため、インターネットの基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	C C N A 学習のため、インターネットの基礎知識習得する
教科書	テキストおよび問題集
特記	
授業計画	1 OSI参照モデルとカプセル化 2 OSI 7 階層の役割 3 イーサネット規格 4 ネットワークデバイス 5 LANのケーブル接続 6 WANのケーブル接続 7 Ciscoデバイスのコンソール接続 8 2進数と16進数の変換 9 ネットワークデバイス基礎 10 ケーブリング 11 アプリケーションプロトコル 12 TCPとUDP 13 インターネットプロトコル 14 IPアドレス 15 アドレスクラス 16 サブネット化 17 ダイレクトブロードキャスト 18 IPアドレスアドレス計算の応用 19 TCP/IPプロトコル 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	C C N A 基礎	
実務家教員授業	－	
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	8 0 時間	
授業コマ数	4 0 コマ	
授業概要	C C N A に合格するための基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	C C N A に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1 Cisco IOSのCLIモード 2 ヘルプの使い方 3 IOSのバージョン情報 4 ルータ識別情報の設定 5 検証コマンド 6 イネーブルパスワードの設定 7 コンソールパスワードと仮想端末パスワード 8 IPアドレスの設定 9 インタフェースの無効化と有効化 10 Cisco IOSのソフトウェアの基礎とルータの設定 11 CDPの概要 12 CDPコマンド 13 telnetコマンド 14 ネットワーク接続の調査 15 Ciscoルータの4つのメモリ 16 パスワードの復旧とIOSの管理 17 Ciscoデバイスの管理 18 Catalystスイッチ 19 MACアドレスの学習とフィルタリング 20 ループの回避	21 全二重通信と半二重通信 22 フレーム転送方式 23 VLANの概要 24 VLANの設定と動作 25 VTPの概要 26 VLAN間ルーティング 27 スイッチの機能 28 Catalyst2950スイッチ動作 29 ルーティングの基礎 30 スタティックルートとデフォルトルート 31 ルーティングプロトコルの分類 32 クラスフルとクラスレス 33 VLSMと集約経路 34 RIP 35 IGRP 36 OSPFの設定と検証 37 EIGRP 38 EIGRPの設定と検証 39 IPルーティング 40 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	C C N A応用 I	
実務家教員授業	－	
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	C C N Aに合格するための応用的な内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と応用な問題演習	
達成目標	C C N Aに合格するための応用的な内容を習得する	
教科書	テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	パケットフィルタリング
	2	ワイルドカードマスク
	3	標準IPアクセスリスト
	4	拡張IPアクセスリスト
	5	検証と名前付き
	6	VTYアクセスクラス
	7	アクセスリスト
	8	NATの概要
	9	NATの設定
	10	ネットワークアドレス変換
	11	WAN接続とHDLC
	12	PPP
	13	シリアルPtoPによる接続
	14	ISDNの概要・設定・検証
	15	DDR
	16	ISDNとDDR接続
	17	フレームリレーの概要
	18	トポロジと設定コマンド
	19	フレームリレー接続
	20	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	CCNA応用Ⅱ
実務家教員授業	－
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	CCNAに合格するため、分野別の模擬試験を行う
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	CCNAに合格するため、分野別の模擬試験で合格点を取ることができる
教科書	なし
特記	
授業計画	1 IPアドレスの設定 2 ダイナミックルーティングの設定 3 ルータの基本設定 4 アクセスリストの設定 5 トラブルシューティング 6 設定のバックアップ 7 TCP/IP基礎 8 CiscoIOSソフトウェア基礎 9 デバイスの管理 10 スイッチの基本動作とVLAN 11 ルーティング基礎とディスタンスベクタ 12 リンクステートとハイブリット 13 アクセスリストによるトラフィック管理とNAT 14 WANプロトコル 15 シリアルポイントツーポイント 16 ISDN接続 17 ダイヤルオンデマンドルーティング 18 フレームリレー接続 19 総まとめ 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	C C N A応用Ⅲ	
実務家教員授業	－	
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	C C N Aに合格するため、模擬試験を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	C C N Aに合格するため、模擬試験で合格点を取ることができる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	模擬試験①
	2	模擬試験① 解説
	3	模擬試験②
	4	模擬試験② 解説
	5	模擬試験③
	6	模擬試験③ 解説
	7	模擬試験④
	8	模擬試験④ 解説
	9	模擬試験⑤
	10	模擬試験⑤ 解説
	11	模擬試験⑥
	12	模擬試験⑥ 解説
	13	模擬試験⑦
	14	模擬試験⑦ 解説
	15	模擬試験⑧
	16	模擬試験⑧ 解説
	17	模擬試験⑨
	18	模擬試験⑨ 解説
	19	総まとめ
	20	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	オフィスWord基礎	
実務家教員	ー	
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義および実習	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文章の作成①
	2	文章の作成②
	3	文章の作成③
	4	文章内の移動①
	5	文章内の移動②
	6	文章内の移動③
	7	文章内の移動④
	8	文章の書式設定①
	9	文章の書式設定②
	11	文章の書式設定③
	12	文章の書式設定④
	13	文章の書式設定⑤
	14	オプションの設定、表示のカスタマイズ①
	15	オプションの設定、表示のカスタマイズ②
	16	オプションの設定、表示のカスタマイズ③
	17	オプションの設定、表示のカスタマイズ④
	18	オプションの設定、表示のカスタマイズ⑤
	19	文章の印刷、保存①
	20	文章の印刷、保存②
	21	文章の印刷、保存③
	22	文章の印刷、保存④
	23	文章の印刷、保存⑤
	24	文字列・段落の挿入①
	25	文字列・段落の挿入②
	26	文字列・段落の挿入③
	27	文字列・段落の挿入④
	28	文字列・段落の挿入⑤
	29	文字列・段落の書式設定①
	30	文字列・段落の書式設定②
	31	文字列・段落の書式設定③
	32	文字列・段落の書式設定④
	33	文字列・段落の書式設定⑤
	34	文字列・段落の書式設定⑥
	35	文字列・段落の並び替え、グループ化①
	36	文字列・段落の並び替え、グループ化②
	37	文字列・段落の並び替え、グループ化③
	38	文字列・段落の並び替え、グループ化④
	39	文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
	40	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	オフィスWord活用	
実務家教員	－	
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	8 0 時間	
授業コマ数	4 0 コマ	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	表の作成①
	2	表の作成②
	3	表の作成③
	4	表の作成④
	5	表の作成⑤
	6	表の変更①
	7	表の変更②
	8	表の変更③
	9	表の変更④
	10	表の変更⑤
	11	リストの作成、変更①
	12	リストの作成、変更②
	13	リストの作成、変更③
	14	リストの作成、変更④
	15	リストの作成、変更⑤
	16	参照のための情報・記号の作成、管理①
	17	参照のための情報・記号の作成、管理②
	18	参照のための情報・記号の作成、管理③
	19	参照のための情報・記号の作成、管理④
	20	参照のための情報・記号の作成、管理⑤
	21	標準の参考資料作成、管理①
	22	標準の参考資料作成、管理②
	23	標準の参考資料作成、管理③
	24	標準の参考資料作成、管理④
	25	標準の参考資料作成、管理⑤
	26	グラフィック要素の挿入①
	27	グラフィック要素の挿入②
	28	グラフィック要素の挿入③
	29	グラフィック要素の挿入④
	30	グラフィック要素の挿入⑤
	31	グラフィック要素の書式設定①
	32	グラフィック要素の書式設定②
	33	グラフィック要素の書式設定③
	34	グラフィック要素の書式設定④
	35	グラフィック要素の書式設定⑤
	36	SmartArtの挿入、書式設定①
	37	SmartArtの挿入、書式設定②
	38	SmartArtの挿入、書式設定③
	39	SmartArtの挿入、書式設定④
	40	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	オフィスExcel基礎
実務家教員	－
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科
履修年次	1年次
開講学期	3学期
科目区分	選択
授業方法	講義および実習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理① 2 ワークシートやブックの作成と管理② 3 セルやセル範囲のデータの管理① 4 セルやセル範囲のデータの管理② 5 テーブルの作成① 6 テーブルの作成② 7 関数を使用するデータの集計① 8 関数を使用するデータの集計② 9 関数を使用する条件付き計算① 10 関数を使用する条件付き計算② 11 関数を使用した文字列の整形や変更① 12 関数を使用した文字列の整形や変更② 13 グラフの作成① 14 グラフの作成② 15 グラフの作成③ 16 グラフの書式設定① 17 グラフの書式設定② 18 オブジェクトの挿入や書式設定① 19 オブジェクトの挿入や書式設定② 20 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	オフィスExcel活用
実務家教員	ー
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	8 0 時間
授業コマ数	4 0 コマ
授業概要	MOS Excel試験に合格するために必要な操作に関する総合的な知識を身につけるための演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理① 2 ワークシートやブックの作成と管理② 3 セルやセル範囲のデータの管理① 4 セルやセル範囲のデータの管理② 5 セルやセル範囲のデータの管理③ 6 テーブルの作成① 7 テーブルの作成② 8 テーブルの作成③ 9 テーブルの作成④ 10 関数を使用時のデータ集計① 11 関数を使用時のデータ集計② 12 関数を使用時のデータ集計③ 13 関数を使用時のデータ集計④ 14 関数を使用時のデータ集計⑤ 15 関数を使用時の条件付き計算① 16 関数を使用時の条件付き計算② 17 関数を使用時の条件付き計算③ 18 関数を使用時の条件付き計算④ 19 関数を使用時の条件付き計算⑤ 20 関数を使用した文字列の整形や変更① 21 関数を使用した文字列の整形や変更② 22 関数を使用した文字列の整形や変更③ 23 関数を使用した文字列の整形や変更④ 24 関数を使用した文字列の整形や変更⑤ 25 グラフの作成① 26 グラフの作成② 27 グラフの作成③ 28 グラフの作成④ 29 グラフの作成⑤ 30 グラフの書式設定① 31 グラフの書式設定② 32 グラフの書式設定③ 33 グラフの書式設定④ 34 グラフの書式設定⑤ 35 オブジェクトの挿入や書式設定① 36 オブジェクトの挿入や書式設定② 37 オブジェクトの挿入や書式設定③ 38 オブジェクトの挿入や書式設定④ 39 オブジェクトの挿入や書式設定⑤ 40 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	簿記論Ⅰ																																								
実務家教員	—																																								
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科																																								
履修年次	1年次																																								
開講学期	3学期																																								
科目区分	選択																																								
授業方法	講義																																								
授業時間	40時間																																								
授業コマ数	20コマ																																								
授業概要	簿記一巡・商品の流れ・固定資産の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。																																								
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																																								
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。																																								
教科書	オリジナルテキスト																																								
特記																																									
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>簿記の概要Ⅰ①（入門編）</td></tr> <tr><td>2</td><td>簿記の概要Ⅰ②（入門編）</td></tr> <tr><td>3</td><td>現金預金Ⅰ①（入門編）</td></tr> <tr><td>4</td><td>現金預金Ⅰ②（入門編）</td></tr> <tr><td>5</td><td>債権債務Ⅰ①（入門編）</td></tr> <tr><td>6</td><td>債権債務Ⅰ②（入門編）</td></tr> <tr><td>7</td><td>商品売買Ⅰ①（入門編）</td></tr> <tr><td>8</td><td>商品売買Ⅰ②（入門編）</td></tr> <tr><td>9</td><td>給料等Ⅰ①（入門編）</td></tr> <tr><td>10</td><td>給料等Ⅰ②（入門編）</td></tr> <tr><td>11</td><td>固定資産Ⅰ①（入門編）</td></tr> <tr><td>12</td><td>固定資産Ⅰ②（入門編）</td></tr> <tr><td>13</td><td>固定資産Ⅰ③（入門編）</td></tr> <tr><td>14</td><td>ソフトウェアⅠ①（入門編）</td></tr> <tr><td>15</td><td>債権債務Ⅰ①（入門編）</td></tr> <tr><td>16</td><td>貸倒れⅠ①（入門編）</td></tr> <tr><td>17</td><td>退職給付会計Ⅰ①（入門編）</td></tr> <tr><td>18</td><td>退職給付会計Ⅰ②（入門編）</td></tr> <tr><td>19</td><td>退職給付会計Ⅰ③（入門編）</td></tr> <tr><td>20</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）	3	現金預金Ⅰ①（入門編）	4	現金預金Ⅰ②（入門編）	5	債権債務Ⅰ①（入門編）	6	債権債務Ⅰ②（入門編）	7	商品売買Ⅰ①（入門編）	8	商品売買Ⅰ②（入門編）	9	給料等Ⅰ①（入門編）	10	給料等Ⅰ②（入門編）	11	固定資産Ⅰ①（入門編）	12	固定資産Ⅰ②（入門編）	13	固定資産Ⅰ③（入門編）	14	ソフトウェアⅠ①（入門編）	15	債権債務Ⅰ①（入門編）	16	貸倒れⅠ①（入門編）	17	退職給付会計Ⅰ①（入門編）	18	退職給付会計Ⅰ②（入門編）	19	退職給付会計Ⅰ③（入門編）	20	確認テスト
1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）																																								
2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）																																								
3	現金預金Ⅰ①（入門編）																																								
4	現金預金Ⅰ②（入門編）																																								
5	債権債務Ⅰ①（入門編）																																								
6	債権債務Ⅰ②（入門編）																																								
7	商品売買Ⅰ①（入門編）																																								
8	商品売買Ⅰ②（入門編）																																								
9	給料等Ⅰ①（入門編）																																								
10	給料等Ⅰ②（入門編）																																								
11	固定資産Ⅰ①（入門編）																																								
12	固定資産Ⅰ②（入門編）																																								
13	固定資産Ⅰ③（入門編）																																								
14	ソフトウェアⅠ①（入門編）																																								
15	債権債務Ⅰ①（入門編）																																								
16	貸倒れⅠ①（入門編）																																								
17	退職給付会計Ⅰ①（入門編）																																								
18	退職給付会計Ⅰ②（入門編）																																								
19	退職給付会計Ⅰ③（入門編）																																								
20	確認テスト																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト																																								
備考																																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論Ⅰ	
実務家教員	—	
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	会計学の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門）
	2	個別注記表（入門）
	3	現金及び預金（入門）
	4	債権債務（入門）
	5	関係会社概念（入門）
	6	売上原価の算定（入門）
	7	貸倒れ（入門）
	8	給料等（入門）
	9	その他の引当金（入門）
	10	退職給付会計（入門）
	11	有形固定資産（入門）
	12	無形固定資産（入門）
	13	株主資本（入門）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門）
	15	有価証券（入門）
	16	ソフトウェア（入門）
	17	法人税等・追徴還付（入門）
	18	現在価値計算（入門）
	19	社債（入門）
	20	確認テスト（理論）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論Ⅱ
実務家教員	—
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	税金・有価証券やリース会計の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 税金Ⅰ①（入門編） 2 社債Ⅰ①（入門編） 3 社債Ⅰ②（入門編） 4 純資産会計Ⅰ①（入門編） 5 純資産会計Ⅰ②（入門編） 6 有価証券Ⅰ①（入門編） 7 有価証券Ⅰ②（入門編） 8 税効果会計Ⅰ①（入門編） 9 税効果会計Ⅰ②（入門編） 10 現在価値計算Ⅰ①（入門編） 11 保険金Ⅰ①（入門編） 12 新株予約権付社債Ⅰ①（入門編） 13 新株予約権付社債Ⅰ②（入門編） 14 減損会計Ⅰ①（入門編） 15 資産除去債務Ⅰ①（入門編） 16 外貨建会計Ⅰ①（入門編） 17 リース会計Ⅰ①（入門編） 18 リース会計Ⅰ②（入門編） 19 リース会計Ⅰ③（入門編） 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論Ⅰ	
実務家教員	—	
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	40 時間	
授業コマ数	20 コマ	
授業概要	会計学の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	利益剰余金（入門）
	2	自己株式（入門）
	3	配当（入門）
	4	外形基準、租税公課（入門）
	5	源泉所得税、社会保険料（入門）
	6	税効果会計（入門）
	7	税効果注記（入門）
	8	源泉所得税、社会保険料（入門）
	9	株主資本等変動計算書（入門）
	10	減損会計（入門）
	11	配当を受けた株主の処理（入門）
	12	圧縮記帳（入門）
	13	外貨建取引（入門）
	14	退職給付会計簡便法（入門）
	15	繰延資産（入門）
	16	為替予約（入門）
	17	消費税等（入門）
	18	リース会計（入門）
	19	研究開発費（入門）
	20	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論Ⅲ	
実務家教員	—	
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科	
履修年次	1 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 試用販売Ⅰ①（入門編） 2 試用販売Ⅰ②（入門編） 3 試用販売Ⅰ③（入門編） 4 試用販売Ⅰ④（入門編） 5 試用販売Ⅰ⑤（入門編） 6 割賦販売Ⅰ②（入門編） 7 割賦販売Ⅰ③（入門編） 8 割賦販売Ⅰ④（入門編） 9 割賦販売Ⅰ⑤（入門編） 10 割賦販売Ⅰ⑥（入門編） 11 未着品販売Ⅰ①（入門編） 12 未着品販売Ⅰ②（入門編） 13 未着品販売Ⅰ③（入門編） 14 未着品販売Ⅰ④（入門編） 15 委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編） 16 委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編） 17 委託販売・受託販売Ⅰ③（入門編） 18 委託販売・受託販売Ⅰ④（入門編） 19 委託販売・受託販売Ⅰ⑤（入門編） 20 確認テスト	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論Ⅰ
実務家教員	—
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科
履修年次	1 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	40 時間
授業コマ数	20 コマ
授業概要	金融商品取引法の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門） 2 会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門） 3 分配可能額①（入門） 4 分配可能額②（入門） 5 スtock・オプション①（入門） 6 スtock・オプション②（入門） 7 財務諸表等規則①（入門） 8 財務諸表等規則②（入門） 9 企業結合会計①（入門） 10 企業結合会計②（入門） 11 ヘッジ会計①（入門） 12 ヘッジ会計②（入門） 13 ヘッジ会計③（入門） 14 ヘッジ会計④（入門） 15 ヘッジ会計⑤（入門） 16 包括利益①（入門） 17 包括利益②（入門） 18 包括利益③（入門） 19 包括利益④（入門） 20 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養
実務家教員	—
学部・学科	情報処理工学科2年制 情報経理科
履修年次	2年次
開講学期	1学期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名① 2 訓読み・送り仮名② 3 熟語① 4 熟語② 5 熟語③ 6 異字同訓・同音異義 7 誤字訂正① 8 誤字訂正② 9 類義語 10 反対語① 11 反対語② 12 漢字の意味・使い方① 13 漢字の意味・使い方② 14 漢字の意味・使い方③ 15 項目別模擬試験① 16 項目別模擬試験② 17 項目別模擬試験③ 18 直前模擬試験① 19 直前模擬試験② 20 直前模擬試験③
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	電卓技能																																								
実務家教員	—																																								
学部・学科	情報処理工学科2年制 情報経理科																																								
履修年次	2年次																																								
開講学期	通年																																								
科目区分	必修																																								
授業方法	演習																																								
授業時間	40時間																																								
授業コマ数	20コマ																																								
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う																																								
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																																								
達成目標	電卓技能の向上を目的とする																																								
教科書	オリジナルテキスト																																								
特記																																									
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>電卓の使い方、端数の取り扱い</td></tr> <tr><td>2</td><td>電卓演習 1</td></tr> <tr><td>3</td><td>電卓演習 2</td></tr> <tr><td>4</td><td>電卓演習 3</td></tr> <tr><td>5</td><td>電卓演習 4</td></tr> <tr><td>6</td><td>電卓演習 5</td></tr> <tr><td>7</td><td>電卓演習 6</td></tr> <tr><td>8</td><td>電卓演習 7</td></tr> <tr><td>9</td><td>電卓演習 8</td></tr> <tr><td>10</td><td>電卓演習 9</td></tr> <tr><td>11</td><td>電卓演習 10</td></tr> <tr><td>12</td><td>電卓演習 11</td></tr> <tr><td>13</td><td>電卓演習 12</td></tr> <tr><td>14</td><td>電卓演習 13</td></tr> <tr><td>15</td><td>電卓演習 14</td></tr> <tr><td>16</td><td>電卓演習 15</td></tr> <tr><td>17</td><td>電卓演習 16</td></tr> <tr><td>18</td><td>電卓演習 17</td></tr> <tr><td>19</td><td>電卓演習 18</td></tr> <tr><td>20</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	1	電卓の使い方、端数の取り扱い	2	電卓演習 1	3	電卓演習 2	4	電卓演習 3	5	電卓演習 4	6	電卓演習 5	7	電卓演習 6	8	電卓演習 7	9	電卓演習 8	10	電卓演習 9	11	電卓演習 10	12	電卓演習 11	13	電卓演習 12	14	電卓演習 13	15	電卓演習 14	16	電卓演習 15	17	電卓演習 16	18	電卓演習 17	19	電卓演習 18	20	確認テスト
1	電卓の使い方、端数の取り扱い																																								
2	電卓演習 1																																								
3	電卓演習 2																																								
4	電卓演習 3																																								
5	電卓演習 4																																								
6	電卓演習 5																																								
7	電卓演習 6																																								
8	電卓演習 7																																								
9	電卓演習 8																																								
10	電卓演習 9																																								
11	電卓演習 10																																								
12	電卓演習 11																																								
13	電卓演習 12																																								
14	電卓演習 13																																								
15	電卓演習 14																																								
16	電卓演習 15																																								
17	電卓演習 16																																								
18	電卓演習 17																																								
19	電卓演習 18																																								
20	確認テスト																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																																								
備考																																									

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容																																						
授業科目	時事対策																																						
実務家教員	－																																						
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科																																						
履修年次	2年次																																						
開講学期	1学期																																						
科目区分	必修																																						
授業方法	講義																																						
授業時間	40時間																																						
授業回数	20コマ																																						
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習																																						
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る																																						
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報収集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる																																						
教科書	テキスト及び参考書																																						
特記																																							
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>用語知識①</td></tr> <tr><td>2</td><td>用語知識②</td></tr> <tr><td>3</td><td>用語知識③</td></tr> <tr><td>4</td><td>用語知識④</td></tr> <tr><td>6</td><td>用語知識⑤</td></tr> <tr><td>7</td><td>考え方①</td></tr> <tr><td>8</td><td>考え方②</td></tr> <tr><td>9</td><td>考え方③</td></tr> <tr><td>10</td><td>考え方④</td></tr> <tr><td>11</td><td>発表①</td></tr> <tr><td>12</td><td>発表②</td></tr> <tr><td>13</td><td>発表③</td></tr> <tr><td>14</td><td>発表④</td></tr> <tr><td>15</td><td>発表⑤</td></tr> <tr><td>16</td><td>個人研究①</td></tr> <tr><td>17</td><td>個人研究②</td></tr> <tr><td>18</td><td>個人研究③</td></tr> <tr><td>19</td><td>個人研究④</td></tr> <tr><td>20</td><td>個人研究⑤</td></tr> </table>	1	用語知識①	2	用語知識②	3	用語知識③	4	用語知識④	6	用語知識⑤	7	考え方①	8	考え方②	9	考え方③	10	考え方④	11	発表①	12	発表②	13	発表③	14	発表④	15	発表⑤	16	個人研究①	17	個人研究②	18	個人研究③	19	個人研究④	20	個人研究⑤
1	用語知識①																																						
2	用語知識②																																						
3	用語知識③																																						
4	用語知識④																																						
6	用語知識⑤																																						
7	考え方①																																						
8	考え方②																																						
9	考え方③																																						
10	考え方④																																						
11	発表①																																						
12	発表②																																						
13	発表③																																						
14	発表④																																						
15	発表⑤																																						
16	個人研究①																																						
17	個人研究②																																						
18	個人研究③																																						
19	個人研究④																																						
20	個人研究⑤																																						
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																																						
備考																																							

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ビジネスマナー			
実務家教員	－			
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科			
履修年次	2年次			
開講学期	1学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	80時間			
授業コマ数	40コマ			
授業概要	ビジネス電話対応、接遇、オフィス内での振舞等、1日のオフィスワークを想定した柔軟な対応スキルを向上させる			
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る			
達成目標	電話応対、接遇に関する実践的な演習をし、習得する			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	敬語の使い方①	21	電話応対実践練習①
	2	敬語の使い方②	22	電話応対実践練習②
	3	敬語の使い方③	23	電話応対実践練習③
	4	敬語の使い方④	24	電話応対実践練習④
	5	敬語の使い方⑤	25	電話応対実践練習⑤
	6	電話応対の復習①	26	電話応対実践練習⑥
	7	電話応対の復習②	27	電話応対実践練習⑦
	8	電話応対の復習③	28	電話応対実践練習⑧
	9	電話応対の復習④	29	電話応対実践練習⑨
	10	電話応対の復習⑤	30	電話応対実践練習⑩
	11	伝言復唱練習①	31	オフィスワーク実践練習①
	12	伝言復唱練習②	32	オフィスワーク実践練習②
	13	伝言復唱練習③	33	オフィスワーク実践練習③
	14	伝言復唱練習④	34	オフィスワーク実践練習④
	15	伝言復唱練習⑤	35	オフィスワーク実践練習⑤
	16	電話における道案内①	36	オフィスワーク実践練習⑥
	17	電話における道案内②	37	オフィスワーク実践練習⑦
	18	電話における道案内③	38	オフィスワーク実践練習⑧
	19	電話における道案内④	39	効果測定①
	20	電話における道案内⑤	40	効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ソフトウェア開発総合	
実務家教員授業	－	
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科	
履修年次	2年次	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	ソフトウェア開発に必要な知識・技術的要件を総合的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ソフトウェア開発に必要な知識・技術的要件を総合的に習得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1 ソフトウェア要件定義 2 ソフトウェア方式設計 3 ソフトウェア詳細設計 4 ソフトウェアコード作成及びテスト 5 ソフトウェア結合 6 機能テスト 7 性能テスト 8 負荷テスト 9 リグレッションテスト 10 構造化チャート 11 システム流れ図 12 流れ図 13 整列 14 集計 15 コントロールブレイク 16 システム設計問題演習 17 ユースケース図 18 クラス図 19 シーケンス図 20 確認テスト	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	C言語基礎			
実務家教員授業	－			
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科			
履修年次	2年次			
科目区分	選択			
授業方法	講義および実習			
授業時間	80時間			
授業コマ数	40コマ			
授業概要	C言語の基本構文とCUIベースプログラムの作成について学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義とプログラム作成実習			
達成目標	C言語を利用したプログラムが実装できる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	プログラムの構成	21	実習⑨
	2	入出力	22	ポインタ
	3	演算子	23	実習⑩
	4	分岐	24	ファイル処理
	5	実習①	25	実習⑪
	6	繰り返し①	26	関数①
	7	実習②	27	実習⑫
	8	繰り返し②	28	関数②
	9	実習③	29	実習⑬
	10	一次元配列	30	関数③
	11	実習④	31	実習⑭
	12	二次元配列	32	ネットワークプログラム
	13	実習⑤	33	実習⑮
	14	文字列①	34	スレッドとネットワークプログラム①
	15	実習⑥	35	実習⑯
	16	文字列②	36	スレッドとネットワークプログラム②
	17	実習⑦	37	実習⑰
	18	構造体	38	スレッドとネットワークプログラム③
	19	実習⑧	39	実習⑱
	20	共用体	40	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	C言語応用	
実務家教員授業	－	
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科	
履修年次	2年次	
科目区分	選択	
授業方法	講義および実習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	80コマ	
授業概要	C言語の基本構文とCUIベースプログラムの作成について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義とプログラム作成実習	
達成目標	応用的なアルゴリズムや要件を満たすプログラムをC言語を使って実装できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	データ識別と保持①
	2	データ識別と保持②
	3	データ加工と保存①
	4	データ加工と保存②
	5	プログラムの記述①
	6	プログラムの記述②
	7	プログラムの記述③
	8	プログラムを機能でまとめる方法①
	9	プログラムを機能でまとめる方法②
	10	さまざまな前処理①
	11	さまざまな前処理②
	12	データをまとめて場所を指定する方法①
	13	データをまとめて場所を指定する方法②
	14	データをまとめて場所を指定する方法③
	15	異なるデータ型をまとめる方法①
	16	異なるデータ型をまとめる方法②
	17	異なるデータ型をまとめる方法③
	18	文字列の操作①
	19	文字列の操作②
	20	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	C言語プログラミング実習			
実務家教員授業	－			
学部・学科	情報処理学科2年制 情報経理科			
履修年次	2年次			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	80時間			
授業コマ数	40コマ			
授業概要	システム開発における実装及びテストについて学ぶ			
授業の進め方	実習			
達成目標	テストの完了及びシステムを完成させる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	イントロダクション	21	テストの実施
	2	プログラミング（開発）	22	テストの実施
	3	プログラミング（開発）	23	テストの実施
	4	プログラミング（開発）	24	テストの実施
	5	プログラミング（開発）	25	テストの実施
	6	プログラミング（開発）	26	プログラミング（改修）
	7	プログラミング（開発）	27	プログラミング（改修）
	8	プログラミング（開発）	28	プログラミング（改修）
	9	プログラミング（開発）	29	プログラミング（改修）
	10	プログラミング（開発）	30	プログラミング（改修）
	11	プログラミング（開発）	31	プログラミング（改修）
	12	プログラミング（開発）	32	プログラミング（改修）
	13	プログラミング（開発）	33	プログラミング（改修）
	14	プログラミング（開発）	34	プログラミング（改修）
	15	プログラミング（開発）	35	プログラミング（改修）
	16	プログラミング（開発）	36	テストの実施
	17	プログラミング（開発）	37	テストの実施
	18	プログラミング（開発）	38	テストの実施
	19	プログラミング（開発）	39	テストの実施
	20	プログラミング（開発）	40	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスコミュニケーション
実務家教員	－
学部・学科	情報処理科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 コマ
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 グループディスカッションとは① 2 グループディスカッションとは② 3 グループディスカッションとは③ 4 グループディスカッションの役割① 5 グループディスカッションの役割② 6 グループディスカッションの役割③ 7 抽象テーマ型グループディスカッション① 8 抽象テーマ型グループディスカッション② 9 抽象テーマ型グループディスカッション③ 10 抽象テーマ型グループディスカッション④ 11 課題解決型グループディスカッション① 12 課題解決型グループディスカッション② 13 課題解決型グループディスカッション③ 14 課題解決型グループディスカッション④ 15 KJ法① 16 KJ法② 17 KJ法③ 18 資料読み取り型グループディスカッション① 19 資料読み取り型グループディスカッション② 20 資料読み取り型グループディスカッション③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	文書実務技能
実務家教員	－
学部・学科	情報処理科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	8 0 時間
授業コマ数	4 0 コマ
授業概要	就職活動に必要な応募書類を記入内容・方法などを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習
達成目標	応募書類を準備できるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 応募書類の準備 2 履歴書作成① 3 履歴書作成② 4 履歴書作成③ 5 履歴書作成④ 6 履歴書作成⑤ 7 履歴書作成⑥ 8 履歴書作成⑦ 9 履歴書作成⑧ 10 履歴書作成⑨ 11 履歴書作成⑩ 12 エントリーシート作成① 13 エントリーシート作成② 14 エントリーシート作成③ 15 エントリーシート作成④ 16 エントリーシート作成⑤ 17 エントリーシート作成⑥ 18 エントリーシート作成⑦ 19 エントリーシート作成⑧ 20 エントリーシート作成⑨ 21 エントリーシート作成⑩ 22 エントリーシート作成⑪ 23 エントリーシート作成⑫ 24 エントリーシート作成⑬ 25 エントリーシート作成⑭ 26 エントリーシート作成⑮ 27 エントリーシート作成⑯ 28 エントリーシート作成⑰ 29 エントリーシート作成⑱ 30 エントリーシート作成⑲ 31 エントリーシート作成⑳ 32 作文演習① 33 作文演習② 34 作文演習③ 35 作文演習④ 36 作文演習⑤ 37 作文演習⑥ 38 作文演習⑦ 39 封筒の作成 40 送り状の作成
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定で評価
備考	

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ワープロ0A実習 I
実務家教員	－
学部・学科	情報処理科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 コマ
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 データベース機能の利用① 5 データベース機能の利用② 6 データベース機能の利用③ 7 データベース機能の利用④ 8 データの抽出① 9 データの抽出② 10 データの抽出③ 11 ピボットテーブル① 12 ピボットテーブル② 13 ピボットテーブル③ 14 ピボットテーブル④ 15 ピボットテーブル⑤ 16 マクロによる作業の自動化① 17 マクロによる作業の自動化② 18 マクロによる作業の自動化③ 19 マクロによる作業の自動化④ 20 マクロによる作業の自動化⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ワープロ0A実習Ⅱ
実務家教員	—
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	8 0 時間
授業回数	4 0 コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作から応用的な操作を習得する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習・解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付け、MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定① 4 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更① 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並び替え、グループ化① 9 スライドの並び替え、グループ化② 10 スライドの並び替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更③ 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行② 16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定① 18 テキストの挿入、書式設定② 19 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定① 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ 23 図の挿入、書式設定① 24 図の挿入、書式設定② 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定④ 27 図形の並び替え、グループ化① 28 図形の並び替え、グループ化② 29 図形の並び替え、グループ化③ 30 図形の並び替え、グループ化④ 31 メディアの挿入、管理① 32 メディアの挿入、管理② 33 画面切り替えの設定① 34 画面切り替えの設定② 35 アニメーションの設定① 36 アニメーションの設定② 37 複数のコンテンツの結合① 38 複数のコンテンツの結合② 39 プレゼンテーションの保護、共有① 40 プレゼンテーションの保護、共有②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論Ⅳ
実務家教員	—
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 本支店会計Ⅰ①（入門編） 2 本支店会計Ⅰ②（入門編） 3 本支店会計Ⅰ③（入門編） 4 組織再編会計Ⅰ①（入門編） 5 組織再編会計Ⅰ②（入門編） 6 組織再編会計Ⅰ③（入門編） 7 建設業会計Ⅰ①（入門編） 8 建設業会計Ⅰ②（入門編） 9 連結会計Ⅰ①（入門編） 10 連結会計Ⅰ②（入門編） 11 連結会計Ⅰ③（入門編） 12 連結会計Ⅰ④（入門編） 13 製造業会計Ⅰ①（入門編） 14 製造業会計Ⅰ②（入門編） 15 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（入門編） 16 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（入門編） 17 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（入門編） 18 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④（入門編） 19 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ⑤（入門編） 20 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ⑥（入門編）
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト第1問の得点100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論Ⅳ	
実務家教員	—	
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	講義	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	会社法の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	金利スワップ①（入門）
	2	金利スワップ②（入門）
	3	金利スワップ③（入門）
	4	資産及び負債の貸借対照表能力①（入門）
	5	資産及び負債の貸借対照表能力②（入門）
	6	資産及び負債の貸借対照表能力③（入門）
	7	投資のリスクからの解放①（入門）
	8	投資のリスクからの解放②（入門）
	9	投資のリスクからの解放③（入門）
	10	配分と評価①（入門）
	11	配分と評価②（入門）
	12	配分と評価③（入門）
	13	収益認識①（入門）
	14	収益認識②（入門）
	15	収益認識③（入門）
	16	組織再①（入門）
	17	組織再②（入門）
	18	組織再③（入門）
	19	組織再④（入門）
	20	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論VI	
実務家教員	—	
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	応用答練①（入門編）
	2	応用答練②（入門編）
	3	応用答練③（入門編）
	4	応用答練④（入門編）
	5	応用答練⑤（入門編）
	6	応用答練⑥（入門編）
	7	応用答練⑦（入門編）
	8	応用答練⑧（入門編）
	9	応用答練⑨（入門編）
	10	応用答練⑩（入門編）
	11	過去問演習①（入門編）
	12	過去問演習②（入門編）
	13	過去問演習③（入門編）
	14	過去問演習④（入門編）
	15	過去問演習⑤（入門編）
	16	問題演習実践①（入門編）
	17	問題演習実践②（入門編）
	18	問題演習実践③（入門編）
	19	問題演習実践④（入門編）
	20	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論Ⅴ	
実務家教員	—	
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科	
履修年次	2 年次	
開講学期	1 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	項目別答練①（入門編）
	2	項目別答練②（入門編）
	3	項目別答練③（入門編）
	4	項目別答練④（入門編）
	5	項目別答練⑤（入門編）
	6	項目別答練⑥（入門編）
	7	項目別答練⑦（入門編）
	8	項目別答練⑧（入門編）
	9	項目別答練⑨（入門編）
	10	項目別答練⑩（入門編）
	11	基礎答練①（入門編）
	12	基礎答練②（入門編）
	13	基礎答練③（入門編）
	14	基礎答練④（入門編）
	15	基礎答練⑤（入門編）
	16	基礎答練⑥（入門編）
	17	基礎答練⑦（入門編）
	18	基礎答練⑧（入門編）
	19	基礎答練⑨（入門編）
	20	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論Ⅴ
実務家教員	—
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期
科目区分	講義
授業方法	講義及び演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	会社法の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門・基礎） 2 会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門・基礎） 3 分配可能額①（入門・基礎） 4 分配可能額②（入門・基礎） 5 スtock・オプション①（入門・基礎） 6 スtock・オプション②（入門・基礎） 7 セール&リースバック①（入門・基礎） 8 セール&リースバック②（入門・基礎） 9 財務諸表等規則①（入門・基礎） 10 純資産会計①（入門・基礎） 11 純資産会計②（入門・基礎） 12 企業結合会計①（入門・基礎） 13 企業結合会計②（入門・基礎） 14 事業分離会計①（入門・基礎） 15 事業分離会計②（入門・基礎） 16 ヘッジ会計①（入門・基礎） 17 ヘッジ会計②（入門・基礎） 18 包括利益①（入門・基礎） 19 包括利益②（入門・基礎） 20 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論Ⅵ
実務家教員	—
学部・学科	情報処理科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	1 学期
科目区分	講義
授業方法	講義及び演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	会社法の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表論総まとめ①（入門・基礎） 2 財務諸表論総まとめ②（入門・基礎） 3 財務諸表論総まとめ③（入門・基礎） 4 財務諸表論総まとめ④（入門・基礎） 5 財務諸表論総まとめ⑤（入門・基礎） 6 財務諸表論総まとめ⑥（入門・基礎） 7 財務諸表論総まとめ⑦（入門・基礎） 8 財務諸表論総まとめ⑧（入門・基礎） 9 総合問題対策①（入門・基礎） 10 総合問題対策②（入門・基礎） 11 総合問題対策③（入門・基礎） 12 総合問題対策④（入門・基礎） 13 総合問題対策⑤（入門・基礎） 14 総合問題対策⑥（入門・基礎） 15 総合問題対策⑦（入門・基礎） 16 総合問題対策⑧（入門・基礎） 17 総合問題対策⑨（入門・基礎） 18 総合問題対策⑩（入門・基礎） 19 模擬試験(計算) 20 模擬試験(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験(理論) 100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	プログラミングⅢ			
実務家教員授業	—			
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	1 6 0 時間			
授業コマ数	8 0 コマ			
授業概要	システム開発における修正や仕様変更の実施方法について学ぶ			
授業の進め方	実習			
達成目標	改修及びテストを行い、システムを完成させる			
教科書	なし			
特記				
授業計画	1	プログラミング(改修)	41	プログラミング(改修)
	2	プログラミング(改修)	42	プログラミング(改修)
	3	プログラミング(改修)	43	プログラミング(改修)
	4	プログラミング(改修)	44	プログラミング(改修)
	5	プログラミング(改修)	45	プログラミング(改修)
	6	プログラミング(改修)	46	プログラミング(改修)
	7	プログラミング(改修)	47	プログラミング(改修)
	8	プログラミング(改修)	48	プログラミング(改修)
	9	プログラミング(改修)	49	プログラミング(改修)
	10	プログラミング(改修)	50	プログラミング(改修)
	11	プログラミング(改修)	51	プログラミング(改修)
	12	プログラミング(改修)	52	プログラミング(改修)
	13	プログラミング(改修)	53	プログラミング(改修)
	14	プログラミング(改修)	54	プログラミング(改修)
	15	プログラミング(改修)	55	プログラミング(改修)
	16	プログラミング(改修)	56	プログラミング(改修)
	17	プログラミング(改修)	57	プログラミング(改修)
	18	プログラミング(改修)	58	プログラミング(改修)
	19	プログラミング(改修)	59	プログラミング(改修)
	20	プログラミング(改修)	60	テストの実施
	21	プログラミング(改修)	61	テストの実施
	22	プログラミング(改修)	62	テストの実施
	23	プログラミング(改修)	63	テストの実施
	24	プログラミング(改修)	64	テストの実施
	25	プログラミング(改修)	65	テストの実施
	26	プログラミング(改修)	66	テストの実施
	27	プログラミング(改修)	67	テストの実施
	28	プログラミング(改修)	68	テストの実施
	29	プログラミング(改修)	69	テストの実施
	30	プログラミング(改修)	70	テストの実施
	31	プログラミング(改修)	71	テストの実施
	32	プログラミング(改修)	72	テストの実施
	33	プログラミング(改修)	73	テストの実施
	34	プログラミング(改修)	74	テストの実施
	35	プログラミング(改修)	75	テストの実施
	36	プログラミング(改修)	76	テストの実施
	37	プログラミング(改修)	77	テストの実施
	38	プログラミング(改修)	78	テストの実施
	39	プログラミング(改修)	79	テストの実施
	40	プログラミング(改修)	80	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	プログラミング演習			
実務家教員授業	—			
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	1 6 0 時間			
授業コマ数	8 0 コマ			
授業概要	システム開発における実装及びテストについて学ぶ			
授業の進め方	実習			
達成目標	テストの完了及びシステムを完成させる			
教科書	なし			
特記				
授業計画	1	プログラミング(開発)	41	テストの実施
	2	プログラミング(開発)	42	テストの実施
	3	プログラミング(開発)	43	テストの実施
	4	プログラミング(開発)	44	テストの実施
	5	プログラミング(開発)	45	テストの実施
	6	プログラミング(開発)	46	テストの実施
	7	プログラミング(開発)	47	テストの実施
	8	プログラミング(開発)	48	テストの実施
	9	プログラミング(開発)	49	テストの実施
	10	プログラミング(開発)	50	テストの実施
	11	プログラミング(開発)	51	テストの実施
	12	プログラミング(開発)	52	テストの実施
	13	プログラミング(開発)	53	テストの実施
	14	プログラミング(開発)	54	テストの実施
	15	プログラミング(開発)	55	テストの実施
	16	プログラミング(開発)	56	テストの実施
	17	プログラミング(開発)	57	テストの実施
	18	プログラミング(開発)	58	テストの実施
	19	プログラミング(開発)	59	テストの実施
	20	プログラミング(開発)	60	テストの実施
	21	プログラミング(開発)	61	テストの実施
	22	プログラミング(開発)	62	テストの実施
	23	プログラミング(開発)	63	テストの実施
	24	プログラミング(開発)	64	テストの実施
	25	プログラミング(開発)	65	テストの実施
	26	プログラミング(開発)	66	テストの実施
	27	プログラミング(開発)	67	テストの実施
	28	プログラミング(開発)	68	テストの実施
	29	プログラミング(開発)	69	テストの実施
	30	プログラミング(開発)	70	テストの実施
	31	プログラミング(開発)	71	テストの実施
	32	プログラミング(開発)	72	テストの実施
	33	プログラミング(開発)	73	テストの実施
	34	プログラミング(開発)	74	テストの実施
	35	プログラミング(開発)	75	テストの実施
	36	プログラミング(開発)	76	テストの実施
	37	プログラミング(開発)	77	テストの実施
	38	プログラミング(開発)	78	テストの実施
	39	プログラミング(開発)	79	テストの実施
	40	プログラミング(開発)	80	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	システム設計演習			
実務家教員授業	○			
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科			
履修年次	2 年次			
開講学期	3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	8 0 時間			
授業コマ数	4 0 コマ			
授業概要	システム開発における企画立案、ユースケース図及びロバストネス図の作成について学ぶ			
授業の進め方	実習			
達成目標	企画立案をおこない、ユースケース図とロバストネス図を完成させる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記	担当教員は前職にてシステム開発に関わり、設計工程からプログラミングを経験しており、システムの振る舞いや構造をモデリングするUMLの知識がある。実務での経験に沿った実習を行う			
授業計画	1	卒業研究とは	21	ユースケースモデリング分析
	2	企画立案の留意点	22	ユースケースモデリング分析
	3	業界研究	23	ユースケースモデリング分析
	4	業界研究	24	ユースケースモデリング分析
	5	業界研究	25	ユースケースモデリング分析
	6	企画立案	26	ユースケースモデリング分析
	7	企画立案	27	ユースケースモデルレビュー
	8	企画立案	28	ユースケースモデルレビュー
	9	企画立案	29	ユースケースモデルレビュー
	10	企画立案	30	ロバストネス分析の理論
	11	企画立案	31	ロバストネス分析の実践
	12	企画立案	32	ロバストネス分析
	13	企画書レビュー	33	ロバストネス分析
	14	企画書レビュー	34	ロバストネス分析
	15	企画書レビュー	35	ロバストネス分析
	16	ドメインモデリングの理論	36	ロバストネス分析
	17	ドメインモデリングの実践	37	ロバストネス分析
	18	ドメインモデリング分析	38	ロバストネス図レビュー
	19	ユースケースモデリングの理論	39	ロバストネス図レビュー
	20	ユースケースモデリングの実践	40	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	システム開発演習		
実務家教員授業	—		
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科		
履修年次	2 年次		
開講学期	3 学期		
科目区分	選択		
授業方法	実習		
授業時間	1 6 0 時間		
授業コマ数	8 0 コマ		
授業概要	システム開発における各種設計書や仕様書について学ぶ		
授業の進め方	実習		
達成目標	シーケンス図とクラス図を作成し、テーブル設計書や画面レイアウトを完成させる		
教科書	なし		
特記			
授業計画	1	シーケンス図作成の理論	41 テーブル設計書の作成
	2	シーケンス図作成の実践	42 テーブル設計書の作成
	3	シーケンス図作成	43 テーブル設計書の作成
	4	シーケンス図作成	44 テーブル設計書の作成
	5	シーケンス図作成	45 テーブル設計書の作成
	6	シーケンス図作成	46 テーブル設計書の作成
	7	シーケンス図作成	47 テーブル設計書の作成
	8	シーケンス図作成	48 テーブル設計書のレビュー
	9	シーケンス図作成	49 テーブル設計書のレビュー
	10	シーケンス図作成	50 テーブル設計書のレビュー
	11	シーケンス図作成	51 テーブル設計書の修正
	12	シーケンス図作成	52 テーブル設計書の修正
	13	シーケンス図作成	53 画面レイアウト設計の理論
	14	シーケンス図作成	54 画面レイアウト設計の実践
	15	シーケンス図レビュー	55 画面レイアウトの作成
	16	シーケンス図レビュー	56 画面レイアウトの作成
	17	シーケンス図レビュー	57 画面レイアウトの作成
	18	シーケンス図の修正	58 画面レイアウトの作成
	19	シーケンス図の修正	59 画面レイアウトの作成
	20	クラス図作成の理論	60 画面レイアウトの作成
	21	クラス図作成の実践	61 画面レイアウトの作成
	22	クラス図作成	62 画面レイアウトの作成
	23	クラス図作成	63 画面レイアウトのレビュー
	24	クラス図作成	64 画面レイアウトのレビュー
	25	クラス図作成	65 画面レイアウトのレビュー
	26	クラス図作成	66 画面レイアウトの修正
	27	クラス図作成	67 画面レイアウトの修正
	28	クラス図作成	68 画面レイアウトの修正
	29	クラス図作成	69 テストの理論
	30	クラス図作成	70 テスト仕様書の作成
	31	クラス図作成	71 テスト仕様書の作成
	32	クラス図作成	72 テスト仕様書の作成
	33	クラス図作成	73 テスト仕様書の作成
	34	クラス図レビュー	74 テスト仕様書の作成
	35	クラス図レビュー	75 テスト仕様書のレビュー
	36	クラス図レビュー	76 テスト仕様書のレビュー
	37	クラス図の修正	77 テスト仕様書のレビュー
	38	クラス図の修正	78 テスト仕様書の修正
	39	データベース設計の理論	79 テスト仕様書の修正
	40	データベース設計の実践	80 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング概論
実務家教員	○
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義および演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	担当教員は、前職にて販売・流通業務に携わり、コンサルティング営業やマーケティングを経験しており、プロモーションや市場分析などの経験がある。これまでの経験を活かし、実務に沿った講義や演習を行う。
授業計画	1 顧客満足① 2 顧客満足② 3 マーケティングの必要性① 4 マーケティングの必要性② 5 情報収集と分析① 6 情報収集と分析② 7 情報収集と分析③ 8 流通チャネル① 9 流通チャネル② 10 流通チャネル③ 11 プロモーション① 12 プロモーション② 13 プロモーション③ 14 財務知識① 15 財務知識② 16 財務知識③ 17 事例研究① 18 事例研究② 19 事例研究③ 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	マーケティング研究																																								
実務家教員	○																																								
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科																																								
履修年次	2 年次																																								
開講学期	2 学期																																								
科目区分	選択																																								
授業方法	講義および演習																																								
授業時間	4 0 時間																																								
授業コマ数	2 0 コマ																																								
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する																																								
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る																																								
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する																																								
教科書	テキスト及び参考書																																								
特記	担当教員は、前職にて販売・流通業務に携わり、コンサルティング営業やマーケティングを経験しており、プロモーションや市場分析などの経験がある。これまでの経験を活かし、実務に沿った講義や演習を行う。																																								
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>店舗データの理解①</td></tr> <tr><td>2</td><td>店舗データの理解②</td></tr> <tr><td>3</td><td>マーケティングの流れ①</td></tr> <tr><td>4</td><td>マーケティングの流れ②</td></tr> <tr><td>5</td><td>売上構成分析①</td></tr> <tr><td>6</td><td>売上構成分析②</td></tr> <tr><td>7</td><td>来店客分析①</td></tr> <tr><td>8</td><td>来店客分析②</td></tr> <tr><td>9</td><td>商品分析①</td></tr> <tr><td>10</td><td>商品分析②</td></tr> <tr><td>11</td><td>費用分析①</td></tr> <tr><td>12</td><td>費用分析②</td></tr> <tr><td>13</td><td>課題抽出①</td></tr> <tr><td>14</td><td>課題抽出②</td></tr> <tr><td>15</td><td>アンケート調査分析①</td></tr> <tr><td>16</td><td>アンケート調査分析②</td></tr> <tr><td>17</td><td>企画作成①</td></tr> <tr><td>18</td><td>企画作成②</td></tr> <tr><td>19</td><td>様々なマーケティング①</td></tr> <tr><td>20</td><td>様々なマーケティング②</td></tr> </table>	1	店舗データの理解①	2	店舗データの理解②	3	マーケティングの流れ①	4	マーケティングの流れ②	5	売上構成分析①	6	売上構成分析②	7	来店客分析①	8	来店客分析②	9	商品分析①	10	商品分析②	11	費用分析①	12	費用分析②	13	課題抽出①	14	課題抽出②	15	アンケート調査分析①	16	アンケート調査分析②	17	企画作成①	18	企画作成②	19	様々なマーケティング①	20	様々なマーケティング②
1	店舗データの理解①																																								
2	店舗データの理解②																																								
3	マーケティングの流れ①																																								
4	マーケティングの流れ②																																								
5	売上構成分析①																																								
6	売上構成分析②																																								
7	来店客分析①																																								
8	来店客分析②																																								
9	商品分析①																																								
10	商品分析②																																								
11	費用分析①																																								
12	費用分析②																																								
13	課題抽出①																																								
14	課題抽出②																																								
15	アンケート調査分析①																																								
16	アンケート調査分析②																																								
17	企画作成①																																								
18	企画作成②																																								
19	様々なマーケティング①																																								
20	様々なマーケティング②																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度																																								
備考																																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング演習
実務家教員	—
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	2 学期・3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 2 0 時間
授業コマ数	1 6 0 コマ
授業概要	マーケティングの必要性和目的を学習し、事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得し、具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 顧客満足 マーケティングの必要性 情報収集と分析 流通チャネル プロモーション 2 財務知識 3 店舗データの理解 マーケティングの流れ 売上構成分析 来店客分析 商品分析 80 費用分析 81 課題抽出 店舗データの理解 マーケティングの流れ 売上構成分析 来店客分析 商品分析 費用分析 課題抽出 アンケート調査分析 企画作成 様々なマーケティング 120 プレ卒業研究
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	接遇マナー実践			
実務家教員	－			
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科			
履修年次	2 年次			
開講学期	2 学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	8 0 時間			
授業コマ数	4 0 コマ			
授業概要	応対に関する実践的な学習をする			
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る			
達成目標	応対に関する実践的な演習を通じて、習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	接遇・接客マナーとは①	21	電話マナー①
	2	接遇・接客マナーとは②	22	電話マナー②
	3	接遇・接客マナーとは③	23	電話マナー③
	4	接遇・接客マナーとは④	24	電話マナー④
	5	接遇・接客の心得①	25	電話マナー⑤
	6	接遇・接客の心得②	26	電話マナー⑥
	7	接遇・接客の心得③	27	電話マナー⑦
	8	接遇・接客の心得④	28	電話マナー⑧
	9	お客様の心理①	29	演習①
	10	お客様の心理②	30	演習②
	11	お客様の心理③	31	演習③
	12	お客様の心理④	32	演習④
	13	受付・店内接客の基本①	33	演習⑤
	14	受付・店内接客の基本②	34	演習⑥
	15	受付・店内接客の基本③	35	総合演習①
	16	受付・店内接客の基本④	36	総合演習②
	17	受付・店内接客の演習①	37	総合演習③
	18	受付・店内接客の演習②	38	効果測定①
	19	受付・店内接客の演習③	39	効果測定②
	20	受付・店内接客の演習④	40	効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％ 実技による効果測定			
備考				

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅲ
実務家教員	－
学部・学科	情報処理科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	4 0 時間
授業回数	2 0 コマ
授業概要	Word：長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel：目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word：段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel：複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 数式・関数を活用した集計表の作成① 5 数式・関数を活用した集計表の作成② 6 数式・関数を活用した集計表の作成③ 7 数式・関数を活用した集計表の作成④ 8 数式・関数を活用した集計表の作成⑤ 9 ワークシート間の集計① 10 ワークシート間の集計② 11 ワークシート間の集計③ 12 ワークシート間の集計④ 13 グラフの基本① 14 グラフの基本② 15 グラフの基本③ 16 目的に応じたグラフの作成と編集① 17 目的に応じたグラフの作成と編集② 18 目的に応じたグラフの作成と編集③ 19 目的に応じたグラフの作成と編集④ 20 目的に応じたグラフの作成と編集⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	実務会計実習
実務家教員	－
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	財務諸表を理解し、会計の構造を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	会計上・税務上のポイントを捉え経理・財務の基礎的な業務知識を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 売掛債権管理 2 買掛債務管理 3 在庫管理 4 固定資産 5 ソフトウェア管理 6 原価管理 7 経費管理 8 月次業務管理 9 税効果計算業務 10 消費税申告業務 11 法人税申告業務 12 税務調査対応 13 現金出納帳管理 14 手形・小切手管理 15 有価証券管理 16 財務保証管理 17 貸付金・借入金業務 18 社債管理 19 外貨建取引管理 20 資金管理 21 単年決算業務 22 連結決算管理 23 中長期軽々管理 24 年次予算管理 25 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	経理事務総合		
実務家教員	－		
学部・学科	情報処理科 2 年制 情報経理科		
履修年次	2 年次		
開講学期	2 学期		
科目区分	選択		
授業方法	講義および演習		
授業時間	1 2 0 時間		
授業コマ数	6 0 コマ		
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	経理・総務の年間カリキュラム	31 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）①
	2	小切手・手形の実務上のポイント①	32 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）②
	3	小切手・手形の実務上のポイント②	33 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）③
	4	入出金伝票と現金出納帳①	34 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）④
	5	入出金伝票と現金出納帳②	35 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）⑤
	6	当座預金出納帳と手形記入帳①	36 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）⑥
	7	当座預金出納帳と手形記入帳②	37 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）⑦
	8	交際費、福利厚生費及び会議費用の区分①	38 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）⑧
	9	交際費、福利厚生費及び会議費用の区分②	39 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）⑨
	10	交際費、福利厚生費及び会議費用の区分③	40 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）⑩
	11	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理①	41 個人住民税の徴収及び納付①
	12	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理②	42 個人住民税の徴収及び納付②
	13	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③	43 個人住民税の徴収及び納付③
	14	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④	44 個人住民税の徴収及び納付④
	15	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤	45 個人住民税の徴収及び納付⑤
	16	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥	46 印紙税の基礎知識
	17	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑦	47 受取利息の会計処理
	18	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑧	48 消費税法の概要①
	19	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑨	49 消費税法の概要②
	20	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑩	50 消費税の会計処理①
	21	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務①	51 消費税の会計処理②
	22	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務②	52 消費税の会計処理③
	23	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務③	53 消費税の会計処理④
	24	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務④	54 消費税の会計処理⑤
	25	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務⑤	55 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）①
	26	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）①	56 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）②
	27	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）②	57 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）③
	28	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）③	58 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）④
	29	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）④	59 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）⑤
	30	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）⑤	60 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習応用
実務家教員	－
学部・学科	情報処理科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	8 0 時間
授業コマ数	4 0 コマ
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 文書の作成と管理④ 5 文書の作成と管理⑤ 6 データベース機能の利用① 7 データベース機能の利用② 8 データベース機能の利用③ 9 データベース機能の利用④ 10 データベース機能の利用⑤ 11 データの抽出① 12 データの抽出② 13 データの抽出③ 14 データの抽出④ 15 データの抽出⑤ 16 データの抽出⑥ 17 データの抽出⑦ 18 データの抽出⑧ 19 データの抽出⑨ 20 ピボットテーブル① 21 ピボットテーブル② 22 ピボットテーブル③ 23 ピボットテーブル④ 24 ピボットテーブル⑤ 25 ピボットテーブル⑥ 26 ピボットテーブル⑦ 27 ピボットテーブル⑧ 28 ピボットテーブル⑨ 29 ピボットテーブル⑩ 30 マクロによる作業の自動化① 31 マクロによる作業の自動化② 32 マクロによる作業の自動化③ 33 マクロによる作業の自動化④ 34 マクロによる作業の自動化⑤ 35 マクロによる作業の自動化⑥ 36 マクロによる作業の自動化⑦ 37 マクロによる作業の自動化⑧ 38 マクロによる作業の自動化⑨ 39 マクロによる作業の自動化⑩ 40 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	経理実務実習			
実務家教員	－			
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科			
履修年次	2 年次			
開講学期	3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	講義および演習			
授業時間	8 0 時間			
授業コマ数	4 0 コマ			
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	所得税の基礎知識①	21	法定調書の流れ⑥
	2	所得税の基礎知識②	22	法定調書の流れ⑦
	3	所得税の基礎知識③	23	法定調書の流れ⑧
	4	所得税の基礎知識④	24	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①
	5	所得税の基礎知識⑤	25	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②
	6	所得税の基礎知識⑥	26	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③
	7	所得税の基礎知識⑦	27	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出④
	8	所得税の基礎知識⑧	28	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑤
	9	所得税の基礎知識⑨	29	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑥
	10	年末調整のしかた①	30	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑦
	11	年末調整のしかた②	31	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑧
	12	年末調整のしかた③	32	労働保険の概要及び会計処理①
	13	年末調整のしかた④	33	労働保険の概要及び会計処理②
	14	年末調整のしかた⑤	34	労働保険の概要及び会計処理③
	15	年末調整のしかた⑥	35	労働保険の概要及び会計処理④
	16	法定調書の流れ①	36	労働保険の概要及び会計処理⑤
	17	法定調書の流れ②	37	労働保険の概要及び会計処理⑥
	18	法定調書の流れ③	38	労働保険の概要及び会計処理⑦
	19	法定調書の流れ④	39	労働保険の概要及び会計処理⑧
	20	法定調書の流れ⑤	40	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務会計ソフト実習			
実務家教員	－			
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科			
履修年次	2 年次			
開講学期	3 学期			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	8 0 時間			
授業コマ数	4 0 コマ			
授業概要	会計ソフトを使って基礎的な入力処理を行い、試算表や決算書を作成するスキルを身につける実習			
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	会計ソフトを使って日常取引および決算手続きの入力操作を行い、決算書の作成ができる			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1 振替伝票の入力操作① 2 振替伝票の入力操作② 3 振替伝票の入力操作③ 4 入出金伝票の入力操作① 5 入出金伝票の入力操作② 6 入出金伝票の入力操作③ 7 仕訳帳の入力操作① 8 仕訳帳の入力操作② 9 仕訳帳の入力操作③ 10 売掛帳・買掛帳の入力操作① 11 売掛帳・買掛帳の入力操作② 12 売掛帳・買掛帳の入力操作③ 13 現金出納帳・預金出納帳の入力操作① 14 現金出納帳・預金出納帳の入力操作② 15 現金出納帳・預金出納帳の入力操作③ 16 勘定科目の追加登録① 17 勘定科目の追加登録② 18 勘定科目の追加登録③ 19 付箋機能① 20 付箋機能②	1 決算手続きの操作① 2 決算手続きの操作② 3 決算手続きの操作③ 4 決算手続きの操作④ 5 決算手続きの操作⑤ 6 決算手続きの操作⑥ 7 決算手続きの操作⑦ 8 決算手続きの操作⑧ 9 決算手続きの操作⑨ 10 決算手続きの操作⑩ 11 決算書の作成① 12 決算書の作成② 13 決算書の作成③ 14 決算書の作成④ 15 決算書の作成⑤ 16 決算書の作成⑥ 17 決算書の作成⑦ 18 決算書の作成⑧ 19 翌期の繰り越し処理 20 確認テスト		
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	総合演習Ⅳ	
実務家教員	—	
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科	
履修年次	2 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	働くうえで備えておくべき基本的な心構えや一般知識の理解。電話応対・来客対応、ビジネス文書作成の知識の修得。問題演習と解説に加え、復習講義により高度な知識定着を図る。	
授業の進め方	マナーに関する実践的な知識を学ぶ	
達成目標	基本的な職場常識・職務の知識と技術を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	職場での心構え
	2	職場に必要な能力
	3	職場の役割と機能
	4	秘書の職務
	5	企業の基礎知識
	6	企業組織の活動
	7	社会常識
	8	人間関係と話し方・聞き方
	9	敬語と接遇用語
	10	電話応対
	11	来客応対
	12	交際業務
	13	ビジネス文書の作成
	14	文書・資料管理
	15	日程管理
	16	環境整備
	17	一般知識
	18	社内文章・社外文章
	19	メール・郵便・書類整理の知識
	20	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	オフィス基礎	
実務家教員授業	—	
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義および実習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	Wordの基本的な機能や操作方法を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	基本的かつ総合的なWordのスキルの養成を目的とする	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文書の作成
	2	文書内の移動
	3	文書の書式設定①
	4	文書の書式設定②
	5	文書のオプションと表示をカスタマイズ①
	6	文書のオプションと表示をカスタマイズ②
	7	文書の印刷、保存
	8	文字列や段落の挿入
	9	文字列や段落の書式設定①
	10	文字列や段落の書式設定②
	11	文字列や段落の並べ替え、グループ化
	12	表を作成する
	13	表を変更する
	14	リストの作成、変更
	15	参照のための情報や記号の作成、管理
	16	標準の参考資料の作成、管理
	17	グラフィック要素の挿入
	18	グラフィック要素の書式設定
	19	SmartArtの挿入、書式設定①
	20	SmartArtの挿入、書式設定②
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	オフィス応用	
実務家教員授業	－	
学部・学科	情報処理科2年制 情報経理科	
履修年次	2年次	
開講学期	2学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義および実習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ	
授業概要	スピード、正確性を向上させるトレーニングを行う	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	MOS（Word）試験に向けた実技能力向上を目的とする	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	項目別問題演習①（文書の作成と管理）
	2	項目別問題演習②（文書の作成と管理）
	3	項目別問題演習③（文書、段落、セクションの書式設定）
	4	項目別問題演習④（文書、段落、セクションの書式設定）
	5	項目別問題演習⑤（表とリストの作成）
	6	項目別問題演習⑥（表とリストの作成）
	7	項目別問題演習⑦（参考資料の適用）
	8	項目別問題演習⑧（参考資料の適用）
	9	項目別問題演習⑨（オブジェクトの挿入と書式設定）
	10	項目別問題演習⑩（オブジェクトの挿入と書式設定）
	11	模擬試験問題演習⑪（新規文書の作成）
	12	模擬試験問題演習⑫（文書の編集）
	13	模擬試験問題演習⑬（保存と印刷）
	14	模擬試験問題演習⑭（表の作成と編集）
	15	模擬試験問題演習⑮（画像の挿入）
	16	模擬試験問題演習⑯（長文作成機能）
	17	模擬試験問題演習⑰（オブジェクトの挿入）
	18	模擬試験問題演習⑱（参考資料の作成）
	19	模擬試験問題演習⑲（文書のプロパティ）
	20	模擬試験問題演習⑳（アクセシビリティ）
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営学総論
実務家教員	－
学部・学科	情報処理科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	6 0 時間
授業回数	3 0 コマ
授業概要	ヒト・モノ・カネ等の資源を集め、消費者に受け入れられる製品を生産するため、企業がいかに行動すべきかを研究する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業の仕組みや組織戦略などを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 アメリカ経営学説① 3 アメリカ経営学説② 4 アメリカ経営学説③ 5 組織構造論① 6 組織構造論② 7 組織構造論③ 8 組織文化論① 9 組織文化論② 10 組織文化論③ 11 コンフリクト論① 12 コンフリクト論② 13 動機付け理論① 14 動機付け理論② 15 リーダーシップ理論① 16 リーダーシップ理論② 17 確認テスト 18 経営戦略論の基礎概念 19 多角化戦略 20 国際化戦略 21 競争戦略① 22 競争戦略② 23 経営戦略の展開方式① 24 経営戦略の展開方式② 25 技術経営① 26 技術経営② 27 経営戦略論の学説史 28 日本経営と日本の企業グループ 29 コーポレートガバナンス論 30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	英語		
実務家教員	ー		
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科		
履修年次	2 年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	1 2 0 時間		
授業回数	6 0 コマ		
授業概要	英文法の基本事項を学習し、読解力も身につけながら、ビジネスシーンで必要となる基礎英語を中心に学習する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	身近な話題について英語でのコミュニケーション力を習得する		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1	①英語の原則 ②代名詞の格 ③関係代名詞	31 ①形容詞節についての復習 ②完全、不完全についての復習 ③than , asは接続詞
	2	①英語の原則 ②代名詞の格 ③関係代名詞	32 ①形容詞節についての復習 ②完全、不完全についての復習 ③than , asは接続詞
	3	①英語の原則 再確認 ②時・条件を表す副詞節についての導入	33 リスニング②
	4	①英語の原則 再確認 ②時・条件を表す副詞節についての導入	34 リスニング②
	5	①各品詞の役割 ②時・条件を表す副詞節についての解説	35 ①単数のものを指すのに、複数形の名詞など ②イギリス英語とアメリカ英語の違い
	6	①各品詞の役割 ②時・条件を表す副詞節についての解説	36 ①単数のものを指すのに、複数形の名詞など ②イギリス英語とアメリカ英語の違い
	7	①英語のしくみ（各品詞の働き、自動詞・他動詞について）	37 ①先行詞の復習 ②完全、不完全の復習 ③文型についての確認
	8	①英語のしくみ（各品詞の働き、自動詞・他動詞について）	38 ①先行詞の復習 ②完全、不完全の復習 ③文型についての確認
	9	①付加疑問文・感嘆文・命令文	39 リスニング③
	10	①付加疑問文・感嘆文・命令文	40 リスニング③
	11	①第5文型（0=S、C=Vのパターン）	41 ①単複同形の名詞などについて ②イギリス英語とアメリカ英語の違い
	12	①第5文型（0=S、C=Vのパターン）	42 ①単複同形の名詞などについて ②イギリス英語とアメリカ英語の違い
	13	①前置詞 ②長文内での代名詞が何を指しているか ③基本時制（時制の一致）	43 ①第5文型（0がS、CがVの関係）②tillとbyの違いや、betweenとamongの違いについて
	14	①前置詞 ②長文内での代名詞が何を指しているか ③基本時制（時制の一致）	44 ①第5文型（0がS、CがVの関係）②tillとbyの違いや、betweenとamongの違いについて
	15	①基本時制、変化形	45 リスニング④
	16	①基本時制、変化形	46 リスニング④
	17	①平叙文、基本時制、変化形の再確認	47 ①発音記号の読み方 ② ‘l’ と ‘r’ の音の違いについて
	18	①平叙文、基本時制、変化形の再確認	48 ①発音記号の読み方 ② ‘l’ と ‘r’ の音の違いについて
	19	①状態動詞、動作動詞について ②動名詞・代名詞の格の確認	49 ①厳密なS=Cの関係が条件 ②他動詞 ③M（修飾語句）の説明。
	20	①状態動詞、動作動詞について ②動名詞・代名詞の格の確認	50 ①厳密なS=Cの関係が条件 ②他動詞 ③M（修飾語句）の説明。
	21	①5文型、文の要素など ②受動態のポイント「0の数が1個減る」	51 ①基本時制を確認後、変化形を調べる ②受動態（0の数が減る）や自動詞・他動詞
	22	①5文型、文の要素など ②受動態のポイント「0の数が1個減る」	52 ①基本時制を確認後、変化形を調べる ②受動態（0の数が減る）や自動詞・他動詞
	23	①助動詞 ②have to と mustの違いについて ③可算名詞、不可算名詞の違い	53 ①動名詞や分詞について ②複合問題（前置詞と受動態など）の復習
	24	①助動詞 ②have to と mustの違いについて ③可算名詞、不可算名詞の違い	54 ①動名詞や分詞について ②複合問題（前置詞と受動態など）の復習
	25	①5W1Hについて	55 ①関係詞について（完全・不完全やwhatについて）
	26	①5W1Hについて	56 ①関係詞について（完全・不完全やwhatについて）
	27	リスニング①	57 ①比較、形容詞の語順について
	28	リスニング①	58 ①比較、形容詞の語順について
	29	①序数について ②分数について	59 確認テスト
	30	①序数について ②分数について	60 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況		
備考			

授業計画書（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	体育
実務家教員	－
学部・学科	情報処理科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び実技
授業時間	6 0 時間
授業回数	3 0 コマ
授業概要	体育の総合演習を通して、実技及び理論の学習を行うとともに、スポーツを通じた運動の意義を理解する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基礎的な事故の体育能力の把握とその維持増進
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 スポーツの概念と歴史 3 スポーツとは何かーその発生と展開 4 各種スポーツの理解と安全 5 各種スポーツの実践① 6 各種スポーツの実践② 7 各種スポーツの実践③ 8 各種スポーツの実践④ 9 各種スポーツの実践⑤ 10 初歩動作から一人すべり スキーの楽しさ知る・安全の確保・マナー 11 八の字から連続回転 12 連続回転からパラレル 13 パラレルターン リズム・タイミング・コース取り 14 八の字と平行を組み合わせるⅠ 15 八の字と平行を組み合わせるⅡ 16 スキーを揃えて滑る 整地・コブ斜面 17 リズム変化 状況対応能力の強化Ⅰ 18 リズム変化 状況対応能力の強化Ⅱ 19 リズム変化 スピード・不整地の対応Ⅰ 20 リズム変化 スピード・不整地の対応Ⅱ 21 バッジテスト 22 初歩動作から一人すべり スノーボードの楽しさ知る・安全の確保・マナー 23 ノーズドロップからの停止（ターンと停止） 24 ターンの形、サイズ変更の基礎 25 ターンの形、サイズ変更の応用 26 リズム変化 斜度変化Ⅰ 27 リズム変化 斜度変化Ⅱ 28 リズム変化 スピード・不整地の対応Ⅰ 29 リズム変化 スピード・不整地の対応Ⅱ 30 バッジテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	高等商業簿記論
実務家教員	－
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記1級検定の会計知識および計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 現金預金、債権の譲渡、デリバティブ取引、有価証券、リース取引 2 貸倒引当金、ヘッジ会計、減損会計、社債、退職給付会計 3 資産除去債務、セール・アンド・リースバック取引、ストック・オプション 4 自己株式、為替予約、外貨建有価証券、圧縮記帳 5 売価還元原価法、転換社債 6 電子記録債権、特別目的会社 7 剰余金の配当、固定資産 8 連結会計 9 キャッシュフロー計算書 10 企業結合 11 返品調整引当金、外貨建有価証券（減損） 12 ヘッジ会計 13 本支店会計総合問題（決算整理後合併残高試算表） 14 決算整理後残高試算表作成 15 損益計算書作成（各種財務諸表金額算定） 16 損益計算書作成（財務諸表の注記に関する金額算定） 17 連結損益計算書 18 連結貸借対照表 19 会計上の変更 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	会計学
実務家教員	－
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、会計基準のみならず適用指針など実務に直結する基礎について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	現行基準の理論体系の理解と、会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表 2 有価証券 3 デリバティブ取引・ヘッジ会計 4 有形固定資産 5 割引現在価値 6 リース取引 7 固定資産の減損 8 研究開発費とソフトウェア 9 繰延資産・社債・引当金 10 退職給付・資産除去債務 11 純資産 12 新株予約権と新株予約権付社債 13 スtock・オプション 14 税効果会計 15 外貨建取引 16 連結財務諸表 17 企業結合 18 事業分離 19 C/F計算書 20 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1 級総合Ⅱ	
実務家教員	－	
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科	
履修年次	2 年次	
開講学期	2 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	8 0 時間	
授業コマ数	4 0 コマ	
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記1級検定合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	商業簿記 総合問題演習①（テスト形式_基礎編）
	2	商業簿記 総合問題演習②（テスト形式_基礎編）
	3	商業簿記 総合問題演習③（テスト形式_基礎編）
	4	商業簿記 総合問題演習④（テスト形式_基礎編）
	5	商業簿記 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）
	6	商業簿記 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）
	7	商業簿記 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編）
	8	商業簿記 総合問題演習⑧（テスト形式_基礎編）
	9	商業簿記 総合問題演習⑨（テスト形式_基礎編）
	10	商業簿記 総合問題演習⑩（テスト形式_基礎編）
	11	商業簿記 総合問題演習⑪（テスト形式_基礎編）
	12	商業簿記 総合問題演習⑫（テスト形式_基礎編）
	13	商業簿記 総合問題演習①（テスト形式_応用編）
	14	商業簿記 総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	15	商業簿記 総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	16	商業簿記 総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	17	商業簿記 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	18	商業簿記 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	19	商業簿記 総合問題演習⑦（テスト形式_応用編）
	20	商業簿記 総合問題演習⑧（テスト形式_応用編）
	21	商業簿記 総合問題演習⑨（テスト形式_応用編）
	22	商業簿記 総合問題演習⑩（テスト形式_応用編）
	23	商業簿記 総合問題演習⑪（テスト形式_応用編）
	24	商業簿記 総合問題演習⑧（テスト形式_応用編）
	25	商業簿記 総合問題演習⑫（テスト形式_応用編）
	26	商業簿記 総合問題演習⑬（テスト形式_応用編）
	27	商業簿記 総合問題演習⑭（テスト形式_応用編）
	28	商業簿記 総合問題演習⑮（テスト形式_応用編）
	29	直前模試①（テスト形式_直前模試）
	30	直前模試②（テスト形式_直前模試）
	31	直前模試③（テスト形式_直前模試）
	32	直前模試④（テスト形式_直前模試）
	33	直前模試⑤（テスト形式_直前模試）
	34	直前模試⑥（テスト形式_直前模試）
	35	直前模試⑦（テスト形式_直前模試）
	36	直前模試⑧（テスト形式_直前模試）
	37	直前模試⑨（テスト形式_直前模試）
	38	直前模試⑩（テスト形式_直前模試）
	39	直前模試⑪（テスト形式_直前模試）
	40	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法Ⅰ
実務家教員	—
学部・学科	情報処理科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	8 0 時間
授業コマ数	4 0 コマ
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の処理方法及び控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 課税の対象①（初級編） 3 課税の対象②（初級編） 4 課税の対象③（初級編） 5 課税の対象④（初級編） 6 課税の対象⑤（初級編） 7 非課税①（初級編） 8 非課税②（初級編） 9 非課税③（初級編） 10 非課税④（初級編） 11 非課税⑤（初級編） 12 輸出免税等①（初級編） 13 輸出免税等②（初級編） 14 輸出免税等③（初級編） 15 輸出免税等④（初級編） 16 輸出免税等⑤（初級編） 17 資産の譲渡等の時期①（初級編） 18 資産の譲渡等の時期②（初級編） 19 資産の譲渡等の時期③（初級編） 20 資産の譲渡等の時期④（初級編） 21 資産の譲渡等の時期⑤（初級編） 22 控除対象仕入税額①（初級編） 23 控除対象仕入税額②（初級編） 24 控除対象仕入税額③（初級編） 25 控除対象仕入税額④（初級編） 26 控除対象仕入税額⑤（初級編） 27 控除対象仕入税額⑥（初級編） 28 売上に係る対価の返還等①（初級編） 29 売上に係る対価の返還等②（初級編） 30 売上に係る対価の返還等③（初級編） 31 売上に係る対価の返還等④（初級編） 32 売上に係る対価の返還等⑤（初級編） 33 売上に係る対価の返還等⑥（初級編） 34 課税期間における課税売上高①（初級編） 35 課税期間における課税売上高②（初級編） 36 課税期間における課税売上高③（初級編） 37 課税期間における課税売上高④（初級編） 38 課税期間における課税売上高⑤（初級編） 39 課税期間における課税売上高⑥（初級編） 40 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論) 100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法 I
実務家教員	—
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	8 0 時間
授業コマ数	4 0 コマ
授業概要	相続税および贈与税の概要基礎を学び、基礎的な問題の理解
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（基礎）
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	- ガイダンス - 相続税法の概要（基礎） - 相続税法と民法（基礎） - 相続人、代襲相続（基礎） - 養子の子の取扱い（基礎） - 相続の承認と放棄（基礎） - 相続分（法定相続分、代襲相続分）（基礎） - 遺言による財産の取得（基礎） - 相続税の納税義務者（基礎） - 生命保険金等（基礎） - 相続税の非課税財産（基礎） - 相続税額の計算方法（基礎） - 生命保険金等の非課税金額（基礎） - 退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（基礎） - 贈与税の概要（基礎）、贈与税の納税義務者（基礎） - 弔慰金等（基礎）、債務控除（基礎） - 相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（基礎） - 相続時精算課税適用財産（基礎）、生前贈与加算相続税の総額（基礎） - 算出相続税額の計算（基礎）、相続税額の加算（基礎） - 贈与税額控除（暦年）（基礎）、配偶者の税額軽減（基礎） - 未成年者控除（基礎）、障害者控除（基礎） - 特定納税義務者（基礎） - 特定納税義務者の債務控除（基礎）、特定納税義務者の障害者控除（基礎） - 贈与税額控除（精算）（基礎） - 自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（基礎） - 自用家屋（基礎）、家屋と構造上一体となっている設備（基礎） - 特別養子制度（基礎）、生命保険契約に関する権利（基礎） - 被保険者でない保険契約者が死亡した場合（基礎） - 法定相続人の数（基礎）、本来の財産（基礎） - 自用地（路線に 2 以上の路線価が付されている宅地）（基礎） - 地区区分の異なる宅地（基礎） - 側方路線等に宅地の一部が接している場合（基礎） - 普通借地権（自用借地権）（基礎）、貸宅地（基礎）、貸家建付地（基礎） - 貸家建付借地権（基礎）、貸家（基礎） - 一般動産（基礎）、たな卸商品等（基礎） - 書画骨とう品（基礎）、預貯金（基礎） - 上場株式（基礎）、構築物（基礎） - 貸付金債権等（基礎）、受取手形等（基礎） - 間口が狭小な宅地等（基礎）、角切り宅地の間口距離（基礎） - 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法Ⅱ
実務家教員	—
学部・学科	情報処理科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	8 0 時間
授業コマ数	4 0 コマ
授業概要	控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	- 仕入れに係る対価の返還等①（初級編） - 仕入れに係る対価の返還等②（初級編） - 仕入れに係る対価の返還等③（初級編） - 仕入れに係る対価の返還等④（初級編） - 納税義務の免除①（初級編） - 納税義務の免除②（初級編） - 納税義務の免除③（初級編） - 納税義務の免除④（初級編） - 納税義務の免除⑤（初級編） - 国境を越えた役務の提供①（初級編） - 国境を越えた役務の提供②（初級編） - 国境を越えた役務の提供③（初級編） - 国境を越えた役務の提供④（初級編） - 国境を越えた役務の提供⑤（初級編） - 中間申告に係る納付税額の計算①（初級編） - 中間申告に係る納付税額の計算②（初級編） - 中間申告に係る納付税額の計算③（初級編） - 中間申告に係る納付税額の計算④（初級編） - 中間申告に係る納付税額の計算⑤（初級編） - 課税仕入れ等の分類①（初級編） - 課税仕入れ等の分類②（初級編） - 課税仕入れ等の分類③（初級編） - 課税仕入れ等の分類④（初級編） - 課税仕入れ等の分類⑤（初級編） - 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①（初級編） - 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②（初級編） - 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③（初級編） - 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例④（初級編） - 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例⑤（初級編） - 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編） - 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編） - 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（初級編） - 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④（初級編） - 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整⑤（初級編） - 納税義務の免除の特例①（初級編） - 納税義務の免除の特例②（初級編） - 納税義務の免除の特例③（初級編） - 納税義務の免除の特例④（初級編） - 納税義務の免除の特例⑤（初級編） - 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法Ⅱ
実務家教員	—
学部・学科	情報処理工学科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	2 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	8 0 時間
授業コマ数	4 0 コマ
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（基礎）
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 使用貸借により借り受けた宅地等（基礎） 2 使用貸借により貸し付けられた宅地等（基礎） 3 使用貸借により貸し付けられた家屋（基礎） 4 小規模宅地等の減額①（基礎） 5 小規模宅地等の減額②（基礎） 6 小規模宅地等の減額③（基礎） 7 小規模宅地等の減額④（基礎） 8 小規模宅地等の減額⑤（基礎） 9 小規模宅地等の減額⑥（基礎） 10 取引相場のない株式①（基礎） 11 取引相場のない株式②（基礎） 12 取引相場のない株式③（基礎） 13 取引相場のない株式④（基礎） 14 取引相場のない株式⑤（基礎） 15 取引相場のない株式⑥（基礎） 16 取引相場のない株式⑦（基礎） 17 取引相場のない株式⑧（基礎） 18 取引相場のない株式⑨（基礎） 19 取引相場のない株式⑩（基礎） 20 取引相場のない株式⑪（基礎） 21 取引相場のない株式⑫（基礎） 22 取引相場のない株式⑬（基礎） 23 利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（基礎） 24 相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（基礎） 25 相当の地代を支払っている場合の借地権（基礎） 26 土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（基礎） 27 利用区分が異なる建物（基礎）、建築中の家屋（基礎） 28 不整形地（基礎）、地積規模の大きな宅地（基礎） 29 がけ地等を有する宅地（基礎）、旗竿状の宅地等（基礎） 30 容積率の異なる宅地（基礎） 31 都市計画道路予定地の区域内にある宅地（基礎） 32 私道の用に供されている宅地（基礎）、セットバックを必要とする宅地（基礎） 33 上場株式（権利落）（基礎）、株式の割り当てを受ける権利（基礎） 34 宅地等の評価単位（基礎）、契約者貸付金等がある場合の保険金（基礎） 35 純農地、中間農地、純山林、中間山林（基礎） 36 市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（基礎） 37 立木、立木の評価減（基礎）、配当期待権（基礎） 38 贈与税が課税される場合（基礎）、相続税が課税される場合（基礎） 39 負担付遺贈・贈与（基礎）、贈与税の非課税財産（基礎） 40 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法Ⅲ
実務家教員	—
学部・学科	情報処理科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	8 0 時間
授業コマ数	4 0 コマ
授業概要	課税標準や簡易課税制度を中心とした処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算（初級編） 2 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編） 3 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編） 4 課税標準①（初級編） 5 課税標準②（初級編） 6 課税標準③（初級編） 7 課税標準④（初級編） 8 簡易課税制度①（初級編） 9 簡易課税制度②（初級編） 10 簡易課税制度③（初級編） 11 簡易課税制度④（初級編） 12 簡易課税制度⑤（初級編） 13 簡易課税制度⑥（初級編） 14 簡易課税制度⑦（初級編） 15 軽減税率①（入門編） 16 軽減税率②（入門編） 17 軽減税率③（入門編） 18 軽減税率④（入門編） 19 軽減税率⑤（入門編） 20 軽減税率⑥（入門編） 21 旧税率に関する経過措置①（入門編） 22 旧税率に関する経過措置②（入門編） 23 旧税率に関する経過措置③（入門編） 24 旧税率に関する経過措置④（入門編） 25 旧税率に関する経過措置⑤（入門編） 26 旧税率に関する経過措置⑥（入門編） 27 複数税率の場合の計算①（入門編） 28 複数税率の場合の計算②（入門編） 29 複数税率の場合の計算③（入門編） 30 複数税率の場合の計算④（入門編） 31 複数税率の場合の計算⑤（入門編） 32 複数税率の場合の計算⑥（入門編） 33 国等に対する特例①（入門編） 34 国等に対する特例②（入門編） 35 国等に対する特例③（入門編） 36 国等に対する特例④（入門編） 37 国等に対する特例⑤（入門編） 38 特殊項目①（事業承継があった場合の控除税額の調整等）（入門編） 39 特殊項目②（前期又は翌期が免税事業者である場合の留意点）（入門編） 40 確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法Ⅲ
実務家教員	—
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科
履修年次	2 年次
開講学期	3 学期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
授業時間	8 0 時間
授業コマ数	4 0 コマ
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な理論的思考も学習をし、理解を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（基礎）
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎） 2 住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（基礎） 3 直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎） 4 証券投資信託受益証券（基礎）、ゴルフ会員権（基礎） 5 不動産投資信託証券（基礎）、措法 7 0 の非課税（基礎） 6 権利義務の承継（基礎） 7 贈与税の配偶者控除（基礎） 8 契約者が取得したものとみなされる生命保険契約に関する権利（基礎） 9 未成年者控除・障害者控除（重ね受け）（基礎） 10 相次相続控除（基礎） 11 増改築等があった場合（基礎） 12 結婚・子育て資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎） 13 確認テスト①(理論) 14 無道路地（基礎） 15 定期借地権等（基礎） 16 定期借地権等（基礎） 17 定期借地権等の目的となっている宅地（貸宅地）（基礎） 18 土砂災害特別警戒区域内にある宅地（基礎） 19 造成費相当額の算定（平坦地）（基礎） 20 公社債（基礎） 21 雇用主が保険料を負担している場合（基礎） 22 保険金の評価（基礎） 23 確認テスト②(理論) 24 定期金に関する権利（基礎） 25 保証期間付定期金に関する権利（基礎） 26 契約に基づかない定期金に関する権利（基礎） 27 財産の所在（基礎） 28 贈与税額控除（暦年）の基となる贈与税額（基礎） 29 贈与税額控除（暦年）の基となる贈与税額（基礎） 30 相続税の外国税額控除（基礎） 31 贈与税の外国税額控除（基礎） 32 確認テスト③(理論) 33 養子の子の応用的な取扱い（基礎） 34 養子の子の応用的な取扱い（基礎） 35 農地等の相続税の納税猶予（基礎） 36 非上場株式の贈与税の納税猶予（基礎） 37 非上場株式の相続税の納税猶予（基礎） 38 個人の事業用資産の贈与税の納税猶予（基礎） 39 個人の事業用資産の相続税の納税猶予（基礎） 40 確認テスト④(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論) 4 回分の平均点 100%
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法Ⅳ	
実務家教員	－	
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科	
履修年次	2 年次	
開講学期	3 学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	4 0 時間	
授業コマ数	2 0 コマ	
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	個別問題対策①（初級編）
	2	個別問題対策②（初級編）
	3	個別問題対策③（初級編）
	4	個別問題対策④（初級編）
	5	個別問題対策⑤（初級編）
	6	総合問題対策①（初級編）
	7	総合問題対策②（初級編）
	8	総合問題対策③（初級編）
	9	総合問題対策④（初級編）
	10	総合問題対策⑤（初級編）
	11	総合問題演習①（初級編）
	12	総合問題演習②（初級編）
	13	総合問題演習③（初級編）
	14	総合問題演習④（初級編）
	15	総合問題演習⑤（初級編）
	16	総合問題演習⑥（初級編）
	17	総合問題演習⑦（初級編）
	18	総合問題演習⑧（初級編）
	19	総合問題演習⑨（初級編）
	20	総合問題演習⑩（初級編）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合問題演習の理論 1 0 回分の平均点100%	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																								
授業科目	相続税法Ⅳ																																								
実務家教員	－																																								
学部・学科	情報処理学科 2 年制 情報経理科																																								
履修年次	2 年次																																								
開講学期	3 学期																																								
科目区分	選択																																								
授業方法	演習																																								
授業時間	4 0 時間																																								
授業コマ数	2 0 コマ																																								
授業概要	相続税および贈与税の規定、申告について総合的に学ぶ																																								
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																																								
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。																																								
教科書	オリジナルテキスト																																								
特記																																									
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>相続税法総まとめ①（基礎編）</td></tr> <tr><td>2</td><td>相続税法総まとめ②（基礎編）</td></tr> <tr><td>3</td><td>相続税法総まとめ③（基礎編）</td></tr> <tr><td>4</td><td>相続税法総まとめ④（基礎編）</td></tr> <tr><td>5</td><td>相続税法総まとめ⑤（基礎編）</td></tr> <tr><td>6</td><td>総合問題対策①（基礎編）</td></tr> <tr><td>7</td><td>総合問題対策②（基礎編）</td></tr> <tr><td>8</td><td>総合問題対策③（基礎編）</td></tr> <tr><td>9</td><td>総合問題対策④（基礎編）</td></tr> <tr><td>10</td><td>総合問題対策⑤（基礎編）</td></tr> <tr><td>11</td><td>総合問題対策⑥（基礎編）</td></tr> <tr><td>12</td><td>総合問題対策⑦（基礎編）</td></tr> <tr><td>13</td><td>総合問題対策⑧（基礎編）</td></tr> <tr><td>14</td><td>総合問題対策⑨（基礎編）</td></tr> <tr><td>15</td><td>総合問題対策⑩（基礎編）</td></tr> <tr><td>16</td><td>総合問題対策⑪（基礎編）</td></tr> <tr><td>17</td><td>総合問題対策⑫（基礎編）</td></tr> <tr><td>18</td><td>総合問題対策⑬（基礎編）</td></tr> <tr><td>19</td><td>総合問題対策⑭（基礎編）</td></tr> <tr><td>20</td><td>総合問題対策⑮（基礎編）</td></tr> </table>	1	相続税法総まとめ①（基礎編）	2	相続税法総まとめ②（基礎編）	3	相続税法総まとめ③（基礎編）	4	相続税法総まとめ④（基礎編）	5	相続税法総まとめ⑤（基礎編）	6	総合問題対策①（基礎編）	7	総合問題対策②（基礎編）	8	総合問題対策③（基礎編）	9	総合問題対策④（基礎編）	10	総合問題対策⑤（基礎編）	11	総合問題対策⑥（基礎編）	12	総合問題対策⑦（基礎編）	13	総合問題対策⑧（基礎編）	14	総合問題対策⑨（基礎編）	15	総合問題対策⑩（基礎編）	16	総合問題対策⑪（基礎編）	17	総合問題対策⑫（基礎編）	18	総合問題対策⑬（基礎編）	19	総合問題対策⑭（基礎編）	20	総合問題対策⑮（基礎編）
1	相続税法総まとめ①（基礎編）																																								
2	相続税法総まとめ②（基礎編）																																								
3	相続税法総まとめ③（基礎編）																																								
4	相続税法総まとめ④（基礎編）																																								
5	相続税法総まとめ⑤（基礎編）																																								
6	総合問題対策①（基礎編）																																								
7	総合問題対策②（基礎編）																																								
8	総合問題対策③（基礎編）																																								
9	総合問題対策④（基礎編）																																								
10	総合問題対策⑤（基礎編）																																								
11	総合問題対策⑥（基礎編）																																								
12	総合問題対策⑦（基礎編）																																								
13	総合問題対策⑧（基礎編）																																								
14	総合問題対策⑨（基礎編）																																								
15	総合問題対策⑩（基礎編）																																								
16	総合問題対策⑪（基礎編）																																								
17	総合問題対策⑫（基礎編）																																								
18	総合問題対策⑬（基礎編）																																								
19	総合問題対策⑭（基礎編）																																								
20	総合問題対策⑮（基礎編）																																								
成績評価方法 (試験実施方法)	総合問題対策⑮の得点100%																																								
備考																																									